施等等各職保衛際の整理部への性 大会を開催、額束地區における特 大会を開催、額束地區における特 大会を開催、額束地區における特 大会を開催、額束地區における特 は一大会を開催、額本地區における特 は一大会を開催、額本地區における特

容な詳細に

福在十三日ごろ任地鞍山に赴く舎」はあびん丸で着任もたが二、三日であびん丸で着任もたが二、三日のおいたが一、三日のおいたが一、三日のおいたが、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一

吉井勇俊の蛭城繁治、太人に娶っかい、然い。かと見ればやり方野

當分輔人雑誌の金次になる。

氣にはならないけど、

えも男作る歳の「別れの歌」が

もなずつたのです

方法協議

灣東地區治安

に邀載者二千に鑑しなほ綴々押

が、義男ながごと 一般家山に向け地撃とつ、あるとは確らしく同け地撃とつ、あるとは確らしく同け地撃とつ、あるとは確らしく同

鈴木總裁の裁斷と

黨出身閣僚の進退

相當期間辭任せず

行先に訪問した砂田、

廣瀬県氏は

林滿鐵總裁

けふ海路上京

ナルの

送りがあった

株崩縮線域はどめ在連官民多数の見 大人同伴、西脇秘書役幣同九日出 大人同伴、西脇秘書役幣同九日出

キリせのさ

おれられからな歌歌の存在がハッ

0

察東方面の

時三十分さの三回に亘つて飛來し

しなかつたわが飛行機が昨日は午【北平九日餐園通】二、三日飛来

の屋根なずれくいの低空飛行を行外に最後の十一時半の一機は民家

交戰狀況

松村公使歸朝。前府の聯盟会議に活躍した特

我率について教感を促らたが示は、日中後二時解女院間とた、縦響について教感を促らたが示は、日中後二時解女院を訪問後、午後、時報なるべしと述べ、且つ吹正臘、【南京八日登闽通】有吉公庫は八股協定等達反の場合は賦平たる處。 税率緩和の意思を廃曲に洩らとた

有吉公使、汪精衛に

一條件を附して

空爆全廢同意

佐藤軍縮代表聲明

第二條件 非軍用機を軍用目前に使用するとを確止する。第一條は 航空母艦を廃並びに艦艇の養着甲板の禁止爆撃の登陵に同意するに含かでない 爆撃の登陵に同意するに含かでない

の重大聲明ななした【窓頂は佐藤

阿派の意見を交換する

事さなつて

(日曜土)

行發日九月六

に對了 報復的

京 木 鈴 人行養 治代喜本橋 人婦編 盛武 村 本 人剛印 地番―田剛園公東市連大 社報日洲滿 社會式株所行費

府は内閣改造問題に関し大統領 ヤか首班さするスペイン共和党

西國政府總辭職

リッド八日發國通」アザ

對英關稅戰火蓋を切る

經濟國防に複稅制度 外務大藏兩省非公式折衝

すべき孤立關稅の二重の關稅率を設け通險総統に應要し無統統國故ひをせんさする相手國に後番に穀後條に採用せん財されて來た、變經經歷に建行の難一關稅總歷に代ふるに通微統統國に對し經濟、適用すべき定義關稅並びに 無條約國に對して適用總歷を有せざるため經濟國防の複稅制度を實施せよさの議が死務省にも進設されたり、大藏密局と非公式に持衡解始され往課度を有せざるため經濟國防の複稅制度を實施せよさの議が死務省にも進設されたり、大藏密局と非公式に持衡解始され往東京二日發國通入經濟處の線化に供ひ各國は非日確宛止關稅を採用してゐるが、我國では明治四十年の華一關稅課度を斷熱し、院整條「東京九日發國通入經濟處の線化に供ひ各國は非日確宛止關稅を採用してゐるが、我國では明治四十年の華一關稅課度を斷熱し、院整條

關稅率緩和を要求 介石に面倉す 成家に見る部である電報して意見に敬しついあり近く 「南京九日發國通一局出山、

大森民事局長視察談

親祭中のこころ九日出帆うちる丸 ので更に満洲國司法郡座等各方面 ので更に満洲國司法郡座等各方面 州電信電話會社設立の決定を見

大型 「東京特體九日盤」関東州高等法 を選択の後低に決定した大都院外事 が選ぶ離氏を司法省に訪べば が選ぶ離氏を司法省に訪べば が選ぶ離氏を司法省に訪べば が上でないから何さも云へねが ないから何さも云へねが

るのがモットー

都合もある、出

赴任は本月中旬 大連は初めての土 高等法院長後任 杉浦判事

ではてのものが自分に取って新 満洲には大正十年來で以來だけ に様てのものが自分に取って新

できてあった

するためであつた するためであつた するためであった。 するためであった。 するためであった。

滿洲國司法制度

急速進歩しよう

新洲電信電話株式食社の設立事務 所は五日から大連郵便局機上に設 では、事務開始に至つたが、開東 のでは、事務開始に至ったが、開東 のでは、事務開始に至ったが、開東 のでは、事務開始に至ったが、開東 のでは、事務に対し、 のでは、 の

三宅伊太郎、同書記野村廉治 「一種移部 (人事係) 連信副事務官 北鐵問題打合後 再上京する

野な場けて日本政府管局さ打合せ 野な場けて日本政府管局さ打合せ 大橋外交部次長談

洲國外交部次長は八日午後七時五 のため像で上京中であった大橋浦 分はさにて輝東したが は営事者たる僕からは一切話せ は営事者たる僕からは一切話せ ない、勿論色々斡旋してゐる目 ない、勿論色々斡旋してゐる目 を政府さの打合せ結果を報告し 更に滿洲國さしての協議もある ので一應歸つたが再上京目程は

題に關しては一切数百の時機明だ、兎も角今の所ではこの

▲大森洪太氏(司法省民事局長)

▲宮部光利氏C滿洲岡民政部顧問

・北郷僧値の音楽、その他突然

加柄開催アの交通連絡會議に出

の上、引續き駒井泰議

ヘンリー・キニー氏(南級嶋託) 新報セネバ特派員) 同上 新報セネバ特派員) 同上

郵便局長會議

自頃再び上京の鎌定である

滿州國側の最後的腹を決定し、席上同問題を説明打合せを

あり午後から協議に入る鎌定 あり午後から協議に入る鎌定 十時より管下各郷便局長の搭集した場所ではこれが野菜さして十日午 ▲ 大島高輔氏 (中央大學教授) 同 ▲ 中村富士太郎氏 (遺信局電氣 栗長) 同八時 岩列車で納連 栗島 (遺信局電氣

時に権限し縮小されてその機構上 剛果鵬速信息の官舗が改正され同識州電信電話株式、質性設立の結果。

作服が網線が、球局までし がが……。 たいし球友質だけの政局

れば、「眠なことだわ。私、あんな好さ 「さころが、存外、さうでないの」と、あの能つたみたいな、聴ながなんであればなんであればなんであればなんであればなんである。 の診臓をお解さになつたら好いで

もう一生、口を利かないつも でです。世際、既なんぞ、ごうしいのだらうさ思つて、びつくりしいのだらうさ思つて、びつくりしいのだらうさ思つて、びつくりしいのだらうさ思つて、びつくりしいのだらうさといっては、私心で融張って居られたのでは、私いで融張って居られたのでは、私いで融張られるよりは、もつさ日情 と、表館でコくして、内

しばでも下げて代謝機能も旺盛に

が 込んでゐらつしやいまでれ。やつ でごうなさいました。いやに沈み でごうなさいました。いやに沈み 言はれるさ、あなた、戦り込んだ 刻、何か言つでましたれ。それな

「糠點?――するさ、何か、終末だいのは。私、わいつに、或る繋 ちゃありませんかし いさうなの。それなのよ、私、

いと思ふ、少しも断作用がなくて だ、物忘れがする、体気も精力も何か被さった様だ、なんだか優勝 不服容等には海道精神海貴來で加 すれば早く良くなる。動脈硬化症がらかなった症候は軽い鬼だからかほ が間よく眠つかれない。 大便も小便も快通 頭がツキンプ







河 夜

て悪く、手提はすぐ高赤に染まって悪く、手提はすぐ高赤に染まっ、水質腫め 歌選な態度で語った 油鑑が盛んに使用されて居る。 生務係)同須田德市、同

▲磯野治作氏(新京鴻嶽東貿平務 所長)同上遼東ホテル投宿 が長)同上遼東ホテル投宿

野中佐(陽東軍参謀)同上

紅

(108)

| 本東海氏(ハルビン事務所長) | 本東海氏(ハルビン事務所長)

▲一宮銀生氏(日本編業重役)同 ▲山村砲兵大佐(旅順重砲隊長)同

邦彦氏(新京中學校長)同

上(吉林建設軍務所 (昭和製鋼所常務)

馬灣傻一、同書記細川正二、同營業部(計畫係)遞信副爭務官

脳溢血の知らせ

めまひ

肩のコリ

▽梅雨前後はどう防ぐか

通信會社

事務參劃

版。 が のの原用となり尿素症を併設し 臓の の原用となり尿素症を併設し 臓を のの原用となり尿素症を併設し 臓を

それから次言に恐るべきものは、

心臓の行用動脈が硬化すると心臓 の働きが非人に降低されるから常

**特線の
進展して**

するから治院の奴果によい祭物を

はたちらさ見せて でうらん、お紙の帯なのはあなた だわ。あいつ等のことだから、こ たわらば度、うるさいかも知れな にからば度、うるさいかも知れな んだ難びがかいつて、お氣の毒で 「はツ、はツ。それアごうも、飛 「はツ、はツ、はツ」と棚段は実 人に熱の歌に思つたくらぬですか。僕、そばから聞いてと、あのべこととてたちやありません だけが威張りちらして、あの人は

らい、判験続い後娘し人生を断つて管と続つてしまつてゐる。破れた

な仕事をすると独心症を起して に動作や自切に苦しみ、

回の酸作でも死んでしまふき例か

し易い老婆斯脈即も使ひ古し、血は一番危險であるといふのは破裂

よばとうしていけばよいかとい

とは多数に版の結果が説明して臭

長すればだん!

良くなるこ

特防にも治性にも海草精制有貴來

今は水無日の祇夏である、仲略のれる。

高低が動しいから危険率が高くな

学身小艦の中風症となってしまふ

脳高郎、 たくてすんでも

數へ切れない。

い働いてゆく人は知らず減らいる。四十歳以上で世の甲に腕一に 福年な生活に陥るのは已てを得な ふことを制量に述べて見たいと いことでどうしても見期に動脈が 耳鳴かするとか

病を保険してゐる、よほど確かり 九まで腐動脈が硬化して血酸亢進って困るといふ人が多いが十中八 めまひに悩むとか、腰が非常に凝 してが使しないと危いことになる 今後間した部分に吸收と排泄を使うなが、からでは、ないのでは、からないのでは、からないのでは、からないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、 ち標準した許分に吸收と排泄を來を持載とすれば、死んだ血、 用して動脈の硬化を治療するこ る、故に常に海草精制海貴來を設 中風を起し年身自不由となった場 既に手選れて

る」に至る 推するから神次回復の声びを得ら 際硬化症、血壓亢進症、膝海貴來の適應症

は大連署の響低の役を励めてゐるか、先づ票笠の自宅を訪れ「自分」が開いて、一味を恐喝せんこ企

別記の係事代が南中央館

(日曜土)

見得を切り駆慄する架芝等を尻目の抵抗するか」で映識を地でゆく大

除隊兵さんでも

電信隊ならば

無電技師は引つ張り凧だ

滿洲の就職線異聞

元に角牌駅防禦の整備員充實にからのでこれがため重役會業にからるのでこれがため重役會業にからる必要にない。

新京に建設 隔離病棟を

苦心 以實口華

刀を突き出し「これでも、江島は懐中からみ渡り 人の有機である、鍵路線がでも各一ては窓に採用不可能に陥つたてあるがこのうち最も散練の好い 込をしたが結果は離り十五、六名てあるがこのうち最も散練の好い 込をしたが結果は離り十五、六名での栽職希望者は根常の鞍に上つ て電能除除除兵約二十名の採用車を補着各部隊の除除兵甲浦洲におい 局線主要線の日本電報取扱者こと 匪賊の警戒に

八員を充實

る軍用自動車にぶら下つて兵站で震撃を送るため利用が出来なって終ひました、北票から出餐して終いまで約一月費して終ひました、北票から出餐する事がので四月二十七、八日頃がつたので四月二十七、八日頃がつたので開墾を送るため利用が出来なる軍用自動車にぶら下つて兵站

本年度除除兵を採用 滿鐵警備委員會協議

無然たス賢倫員ここで大體本年度除隊兵を採用すること、なり その人員決定は全部これを庶務 課長に一任すること、なつた 課長に一任すること、なつた で、動を調査のうへ必要人員を決 定することとなった。 これ等時機 出に就いて協議することになった。で語る

燃中。

用

運動競技にのぼ

せてゐるご

持物

を取られます

下宿屋の娘ご 戀の雲隱れ 孫財政部次長の三男

人質事件の眞相 たので近く

に続きた総基本年三月甲旬より一大連書旅事館へ展出た、犯人三野は一定の職なく生のが十餘代わり心臓犯人を規則、怪盗事件の解決を名地明もたが未だ被郷島町七一番地三野政雄へこが。広覧等三十餘名で十二番地三野政雄へ 学院がある。 学院の主、現金四十年を経過の主、現金四十年の一代になった。 多種に上り後されば、 多種に上り後されば、 を表して、 でいる。 でい。 でいる。 でい。 でいる。 でい 三校の校庭で運動競技

調停理由 石井署長の

曲につき左の如く標明した 低音脈事体に就き伝脈取下げの調 低音脈事体に就き伝脈取下げの調 のでである。 ののでである。 ののでは、 詐欺事件 宏濟善堂の

眞鍋稔子さん 大連市徳

頭痛し

刑務所だけが

不景氣ださうで

愛嬌を振りまき乍ら 宮崎新開東應刑務所長至

予

12

H 華道家元池坊

關東州橘會大連本部

明朗な女性は六月を讚美

ケ種の或るパンガロー、はちきれきうな著さな値かに流体のスレートに午前の職光輝き高の大栗さ、やし起

の農業駅だらうの農業駅であった。夏への行道師、著されているとやき、整个れの産ころ、夏への行道師、著され月の魔はさわやかに夏をまれく女性は順かだ。なぎ

彼女こそ縁なす六月を代表する明期な女性だらう雑田のシュミーズを薦のみざりに映えさせながら……

小為替泥

の度例能があり長宮崎衛安氏は臓鬼犬が移所長宮崎衛安氏は臓

後藤春庭師御臨席 生し* 日本酒が一次の 灘の 酒場へ

十五錢より

二十錢均一

候也と時死去致候間御通知に代べ此段謹告仕口女稔子儀病氣中の處六月九日午前 酒

博徒を 脅 す男あり

ではき、総合支配人には属田巡査とはいっては、総合支配人には属田巡査を伴い岩代町質館 の私服姿を見せたがけて 廣田巡査の計に脈けつけ「只今恐」

■ 技 会はせず、殿田巡査 あるから金さへ出せば内部にしての戦館前に待たせて置いて館内で やる」さ恐鳴と同人から金五十個の戦館前に待たせて置いて館内で やる」さ恐鳴と同人から金五十個大場で会議が最近に至って破り、自分は観察器の手先で してもるが、自分は観察器の手先で してもるが、自分は観察器の手先で

負け金奪ひ合喧嘩を聞き込み の恐喝事件

滿洲國野球部、新京野球俱

まづ十日に初ま

線の際

勇士は岡本瀬護官に指揮され九日藤徳太郎氏以下百三十八名の白衣 いる関係長城線守護のため、 献乏を物さらせず勇猛 技城線守護のため、あ

白衣勇士

生徒その他を見る 心があり

春秋二季に 二回の定期試合

期試合を行ふここになつた。その「小磯拳蹶長が臨むはずである年軽秋の二季に乗り二回戦宛の定」の管、なほ鑑日は始蝶式に闖り、一国城田西公園グラウンドで出る場所の第一回は来る十日、新京電話』新しく総成された浦 春季試合の第一回は来る十日、

のスローガンさらては「死守せよ 野特協約権」「闘ひ取れ諸手常線」 をきる。な 十日内地へ 立しが揚げられてゐる

夢の國熱河の繪行脚を終へて

圖家 武藤夜舟氏來連

い旅だつた

衛戍病院に牧容加族中の 院の勇士 同五時出帆の海畔 旅順衛戍病

アミーパ赤剣に関する研究、 三赤刺アミーパ原形質の水素 オン濃度に就いて 神田恵太 大 東世里盛夫 東世里盛夫 奉天衛學會

和特異的被沈降性物質の被

特義明、臘明寺正大 高楽時雄、林川、久 高楽時雄、林川、久

エナーデーの偉力 では、 は機能で終て頂く。

使用简便·材料。安徽な ベビーイコンタと

セミイコンタカメラ

奮

大連大語

電話長六〇五五

毎日のお食膳に 不意の御來客に 祖 前全博田原 濟教病難



三等 一等 深製丸形座蒲團 五一式 衣裳入大形竹籠川和百 金寶圓也割戾券 檀 張 鏡 台 **宛**枚一 4千一 53 65 129 357 379 285

三越特選海水浴賣出

武藤夜舟氏作品大展覽會

熱河、山海鶥内外のスケッチ展影館は大独畔を使じて終了し新京四日、松天七、八曜日開館した草事高泉武廠使舟少位の た院別して一般の観覧に供することになつた、各位の御来が、いよく一大連に於て二日間左郎の如く其作品百五十餘が、いよく一大連に於て二日間左郎の如く其作品百五十餘が、いよく一大連に終了し

敷島廣場 青年會館 午前九時より四時まで

日報

いから、本件はごちらが悪いいから、本件はごちらが悪い 軍司令 部社

周年記念日 ゼネスト

女店員数採用

オリヱンタル州島加賀町四 キュービー

マヨネーズ

開原

大連盟0568 撫順圖2689 安東電 588 旅順體 470 新京電3898

TATA LA SANTA LA SANT

≟ 大連市

・カルピス宣傳賣出 景 婦人用三越コート賣出 キ液宣傳實演

十日より十五日ま

8

御婦人用 、三五より へず か、九〇より 水 沓、三五より 水 沓、三五より

横山兩博士有効御證明

佐々木、

南京虫、油虫、蠅、蚤退治

船西急灣

學校の成績は関が難してはない

をのんで下さい頭はいない。

颇后到牛

鎖街

沙山田区

鬼

(101)

から知れわなし

くだってい

あ

南京虫退治

されぬさ思つたが

わけなく全滅した

STO TO

を減少したが、金粮は五萬六千七 を減少したが、金粮は五萬六千七

高は監数九千四百二十三點、金山川中における中央卸資市場の質

五月中市場成績

盛觀を示した臺灣果實

な値知な維持した、次にき相當の入債を見、相場も小磁便

總版は一六九、九十

してゐる、

九二、八三〇枚

物、先物でも十六分の一个経

電響 配の入帯は頗る映像

は地物の出絶りに終熄、獨法、

大豆低落

況

m程度で、六年度の月平均三萬 ・ 年度初めの四年は僅か四萬三 ・ 即ちこれた引受数に就て見る

對比|配達十四割九分增

製材關稅引下ご

大連木材業者

州外移出の皆無な現状

数前年同期比

ある、七月一日から四日迄日 一經山のものは經殿秘三朝壁の縣秋度の上京は株の募集について 満洲國輸入の壁築用材で現在大連

地より移入の原木ベ質一糖師な 無せられるが繋材が無税である處 無せられるが繋材が無税である處 がり郵底大連側で太刀打が出来す がりが底大連側で太刀打が出来す

支拂停止

一年七月以前のクレデット

愛國通』ドイッが干

卸市場刷新方を

市當局で研究

市民は小市場増設要望

所を通じて関税引下げ方な満洲國 ・一、本本のべき関税或正に於て大に考 ・で来るべき関税或正に於て大に考 ・で表し、同政府ま

大連港輸入

奥地向貨物十四割激增

前年同期對十割七分增

旁々大連木林紫春は最に酷江食はど州外への移出な塞がれて居る、

脱税行為が

齎らせる小包増

哈市、吉林兩地

低資運用案協議

近く決定七月より貸附開始

地域にするものである、消滅では 米 夫々線定者を設け、三組合の関係 た規定するものである、消滅では が現場を決めたもので、このほか に新京輪組さハルピン及び吉林さ のほか

滿鐵、 今秋出廻期に實施 鐵道、荷主の便益絕大 國線の直通連絡

*月三〇」、二〇七二八五二二 | 三五九三〇二 一九八、二 | 月二二三、三〇二 一九八、二 | 月二〇〇、六八四 一〇九、一 三月二四七、七二九 九〇、二 三月二四七、七二九 九〇、二 滿鐵商事部 販賣會議

楽部で 共月三十二無事館立義會を終つた。 でお近文雄、深水壽の歴氏は仲でなが、深水壽の歴氏は仲でなり、近、東京の歴代は、一般の歴史を持ちない。

は、大大で静速とたが、二人共常に行いた。 ・ 大大で静速とたが、二人共常に行いた。 ・ 大大で静速とたが、二人大学の作品が、一人大学を ・ 大大で静速とたが、二人大学に ・ 大があるが、内地の商業を ・ 大があるが、内地の商業を ・ 大があるが、内地の商業を ・ 大は丁度・ドーしてでなく ・ 大があるが、内地の商業を ・ 大は丁度・ドーしてでなく ・ では確安は生産過剰ださいひ、 ・ では確安は生産過剰ださいひ、 ・ では確安は生産過剰ださいひ、 ・ は丁度・ドートしての地の商業者はみ ・ 大員も念にはそれだけ需要も増しる。 ・ オー

・ 大員も念にはそれだけ需要も増しる。 ・ オー

・ 大人員も念にはそれだけ需要も増しる。 ・ 大人員も念にはをなってるる。 ・ 市工者 ・ 大人員も念には全たが、 ・ 大人員を ・ 大人員を ・ 大人員を ・ 大人員を ・ 大人員も念には全たが、 ・ 大人員も念には全たが、 ・ 大人員も念には全たが、 ・ 大人員を ・ 大人員も念には全たが、 ・ 大人員も念には全たが、 ・ 大人員を ・ 大人人人としても ・ 大人人人としても ・ 大人人としても ・ 大人人ので、 ・ 大人人人ので、 ・ 大人人人ので、 ・ 大人人ので、 ・ 大人ので、 ・ 大人としても ・ 大人ので、 ・ 大人として、 ・ 大人ので、 ・ 大人ので、

上京用件は

株式の公募

専務語る

悟でゐる、東京には株式も相常ので出張所を置くこさに決定しので出張所を置くこさに決定して現在事が場託さして現在事が場託さして現在事という適任者を正式に任命されるだらう【寫真は右深水氏、だるだらう【寫真は右深水氏、だ 右近氏】

世上 記すること・なった結果、ドウズ は も右覧記で停止される等で、現行 は 右覧記で停止される等で、現行 ではないにサング情疑の元种振び でけない 言すること

の問施聯は七月一日で決定したットに對する一般的モラトリアム 一億臺割豫想

新作金の需要施ご標子 新作金の需要施ご標子 十二萬六千個門5本年最 十二萬六千個門5本年最 十二萬六千個門5本年最 1000年 1000年

は経々を行いた。 も時代、人心の報化なれて絵像 も時代、人心の報化なれて絵像 も時代、人心の報化なれて絵像 ときこさ、空うそぶいて表た、これ は経々を行いたの報化なれて絵像 とううが、歌手にされる日本に だらうが、歌手にされる日本に だらうが、歌手にされる日本に だらうが、歌手にされる日本に だらうが、歌手にされる日本に

大林等それが、高学の関化に を大と、大林等では、一、一部学の関化で、この結果、は正しく日英語を を変はない。この結果、は正しく日英語を を変はない。この結果、は正しく日英語を で、この結果、は正しく日英語を を変はない。 を変が、このに、 が、このに、 が、このに、 が、このに、 が、このに、 がは、 できるい。 できるといる。 できるといる。 を変が、 できるといる。 できると、 できると できると、 できると、 できると、 できると。 できると、 できる。 できると、 できる。 で

木鈴

元 十銭 階五十銭 階七十銭 を田前 (除 本) 三九通西市連大 樹五七五八話電 (院 分)

公信與洲満 のきさぬはる 祖始の業信果 計統 乗日 査調

| 『東京特電九日韓』シムラ三宅徳 | 策につき||印金郡提議に購て領事後、印度政府の開税引上げさ | 明を登表した た切望してゐる 日滿懇談會 委員決

委員會說

市報電

印度商務省

日印會商提議を聲明

にこの十六日に總理官邸におい この十六日に總理官邸におい 大丈夫 を制管でられてゐるが、大丈夫 を制管でられてゐるが、大丈夫

たった。 を はた見さる現版の存在から強と無外移 はた見さる現版を打破するには結 はた見さる現版を打破するには結 はた見さる現版を打破するには結 はた見さる現版を打破するには結 はたりでなる。 は、 で、かくすれば大連港が ない。 にとによって大連側木材業者が救っ なのに、 、 なのに、 、 なのに、 、 なのに、 、ののに、 、ののに、 、ののに、 、ののに、 、ののに、 、ののに、 、ののに、 、ののに、 、ののに、 、 、 、 ののに、 委員會を開催、種々協議 を登りに選び十日午後7 り特別を見か選低、季島 おお食長融會長各町 でもの食長融會長各町

硫安の前途は

懸念の要はない

九日歸連の右近、深水氏交々語る

これから大にやる積り

関係性であらうさ唱へられてる、 国下溶熱主要地、取分け新見でし は下溶熱主要地、取分け新見でし

生 経 相場 が 相場

獨のモラトリアムに

シャ博士の言明

七月一日より實施決定

はボット 高値な響流してゐる はボット 高値な響流してゐる はボット 高値な響流してゐる はボット 高値な響流してゐる はボット 高値な響流しがらす實 る人無震撃である、要和家海外線 る人無震撃である、要和家海外線 である、要和家海外線 である、要和家海外線 である、要和家海外線

六月末 計(元の) 計(元の)

東新引反撥 東新引反撥 東新引反撥 東新引反撥 一面九十錢安、維紡六個九十錢安、維紡六個九十錢安、締紡六個九十錢高、維新七十錢高、東京與期の東新は三風掬み高さ及撥 と常市の五品は定期三四十錢高、新む十錢高、東京與期の東新は三風掬子高。東京與期の東新は三風掬子高。東京與期の東新は三風掬子高。東京與期の東新は三風掬子高。東京與期の東新は三風滑子高。統

「大高値四十錢高、新豆十錢高、新坊大大大新一個十十錢高、新豆十錢高、新豆十錢高、新坊大大

◆定期前場。單位錢)
◆定期前場。單位錢)
◆定期前場。單位錢)
◆現物前場。單位錢)
◆現物前場。單位錢)

→特別優待券(一枚)

・・劇盗怪たち滿こ奇怪と險胃と慄戦 リーク

銀塊及為整 倫教銀塊 元片品分一同 先物 元片三分一同 先物 元片三分子 同 先物 元片三分子 三貫銀塊 圣僧比八分七 天子コンダ 三州四分三 英米乌替 四州北側3分三 英米乌替 三州七側3分三 英米乌替 三州七側3分三

滕武雄氏原作の

W 大連 長5472

一二浦屋 一二浦屋 一二浦屋

株は何なものか 御報贈呈



信値値を存った。

九九九二三元八 九六三三元八 九元三三元八 五元八

九日の閣議

剛東側紡績も合流し

は電砂、明年度楽算線成のために は電砂、明年度楽算線成のために を断像から、先づ触れその外景を 一定めて切盛する方法を執らうさし だめて切盛する方法を執らうさし がため、北部局は理財 局に明年度公儀養行の限度に顕す る調査を依頼したが、大替五億圓

の内意を有して

探金隊

感謝優遇

三回答、 倉見一時間で終ったがこ

徳川前議長に

幸役

官記傳達式

南境の脅威を除去し

國内の鼠匪また屛息

滿洲國の國礎磐石の如〜堅し

電響第一二。

日濠通商條約

今秋正式に交渉開始

の電低は九日の閣議で正式決定し

又相の進退により

総裁の裁斷決せん

は通動航海條約を締結する事を承 ・ は通動航海條約を締結する事を承

我代表部

公電に依れば激州自治館皆様ライの村井總領事より外務省に塗したの村井總領事より外務省に塗した

ある

政友の内争深刻化す

数令される

に東京九日登國通過 球友館内部の であるが、関連がより、自動を構造の地込みに、 を整備のなさに急進、自動観するの名 て急進派は総部の支持あるだけに 連続な人際が化しい、自動観するの名 て急進派は総部の支持あるだけに 連続な人際が化しい、自動観され服源の てある、この間にあつて鈴木線裁 がおしたなし八十四名を構へ、自 で自重を機像する場合では、 を変えて、自動した。 を変え、管値を が知何なる緩解な下すかは連結し で自重を機像する場合では、 を変えて、 を変えて、 を変して、 ののうるが、 でも重なを機の、 でも重なを機の、 でも重なを機の、 でも重なを機の。 でも重なを機の。 でも重なを機の。 でも重なを機の。 でも重なを機の。 でも重なを機のの一境に根管重大経験 を変して、 を変して、 を変しまり、 を変して、 を変して を変して、 を

對支借欵に

山本氏、島田氏等を訪問

学である 様である 様である 様である

自重派會合

米棉に種

順の一面にしたさの日

公債發行五億程度

增稅約一億、既定費削減約一億

王計局豫算編成方針

常な興味の

米國内の輿論は

凱旋勇士を

十日午後五時海祥丸

四六倍判

で急転電下総結で見た米國の支那 を受ける五千萬州信用供験家に窓 で急転電下総結で見た米國の支那 を受け前途 を大阪野に図ってるる旨 で急転電での認攻撃を受け前途 を入日外務省に必認があった、即ち

見送りませう

米輿論の總攻撃 形態で信用を有してゐない斯か到る處內亂相次ぎ眞に國家たる

大きでには製画間を要するである。 は事態は経々悪化し来つたので九を通じ英貴政府に提示することに は事態は経々悪化し来つたので九を通じ英貴政府に提示することに は 大きで は いっぱん は は いっぱん は は いっと は いっと は は いっと は いっと は いっと は は いっと いっと は いっと いっと は いっと は いっと は いっと は いっと は いっと は いっと いっと は いっと は いっと いっと は いっと は

支那側に警告

外來語は各々語源を明

文法上の要件を明示す

主なる品詞に就て一々

礎を置く。

類語及對語表

露日度量衡比較

お園際信用なき國家に對して五年の際断然有時のである、故にこの際断然有ものである。故にこの際断然有ものである。故にこの際断然有

繁簡よろしきを得。

各種の専門術語を豊富

に收め之に適譯を與ふ

▲晴報部 寮藤博、横山正幸雨氏 ▲事務總長 大使館参事官加藤外 左の如し 左の如し 左の如し

陣容整ふ

ては互惠協定を設定する方針で な、使、伊藤遠史氏及び随り様山正幸 着した、九日の石井代表一行の郵 着した、九日の石井代表一行の郵 をは八日送に悉くロンドンに新 ので日本代表部の陣容は完全に整 のでは、大田の石井代表一行の郵

等凡ゆる語彙を網羅す 語數の豐富なるは世界 に比類なく新語・古語 ·方言·俗語·外來語

局經編 本辭書の特色

春のお化粧料は 全世界に誇る 全世界に誇る 3 高 新 注 行

邦人全部引揚 支那官憲に壓迫されて

年前十時間会、山本、後藤、三土

つた。

淅湖視察に

のため九日入港はるびん丸で来連

對米為替 當分放任

フランス語第一歩 定價一面・资料六銭

進目出 呈錄版

東京神田駿河臺下

白

水

「京都九日を回通」小西總長は昨夜十時京都要東上した、總長瀬行 の解決紀に送野部教授の念思に基行の解決紀に送野部教授の念思に基行を動かれば静意を表明し法要部教 小西總長東上

佳木斯出發 專門十大家共編 模 佛蘭西文學會編新 山本直交編纂標 丸山順太郎編白水社 音 佛 和 佛 和 和 和 小

電視の記式

於

競野口供基組 佛蘭

西語

西語

一部

逆引解

典 語 辭 辭 典 典 書留改料 十六銭 書留送科二十二個 審留送科 十六銭 書留送料十四銭 書留送料 十八銭

範 佛和 大 辭 典 書留送料六十二個

滿洲山限,六月廿日迄(至明) 特價期限切迫!

特價七圓五O錢 作價十圓五O錢

注意點を一貫したい。それは環

名に警じてゐる、じかるに整線 質作業による昭和整線所の第一期 質作業による昭和整線所の第一期 一二十萬線、解析十三萬五千線頭に 二十萬線、解析十三萬五千線頭に

よ人位二千一百名、高州県人物八 を立て、ぬることで、町ち屋屋所なが、なり催って使用人と説明して日 二家を民の公約を守って蝦夷門最終的百四十萬嶋を怨安さすること 最も注目に値する鉱は同製廠所が無約百四十萬嶋、膝院約四十二萬嶋、鷺 千名さなる議定であるが、ことで七十萬嶋、膝院約四十二萬嶋、鷺

化があり、時の概念は益々一般

することを准されなくなった。 何事にも又曇日の如く獨立孤行

邦人の人口倍加製鋼所の設置で

ででいます。 では、ことを思いても先づこの本総に入るに先だち、それの基礎整備所の をに先だち、それの基礎整備所の

特派員五百旗頭佐一

場合が多かつたが、

は衝吹この相違を平均せらめ、

しは数時間に處理し決済し得る

伸び行

つて、甲が敷目か要する作業も 響時は民衆の知識も属々でわ

なつたが、此處にも從來の放漫

開東離暮電局理事官 (九日)

所對金票 一〇一〇〇、四〇

000°

此道健康八通す

朝夕二杯

長谷場 純

その範圍が膨くな

種の誇であるが如き階級意識

質で封建時代にはこの概念に乏

滿洲國

の軍隊

期待される精兵化

石野顧問現狀及び計畫を語る

改善され行く

多數者の一致で連絡でな旨です・ 個人若くは一家族の間に於て

選さ雖も、之た幾百幾千てふ大將來する。卽ち僅少の時間の相 情や運速が非常に大なる利害な る行動に至つては、各個人の動 【新京電話】 概単階の手を離れ我にあって現在では第一に全く吹著せられた補別周軍隊の現場につき消別の下に全く吹著せら後来の東北軍隊は挙身を頭さしてあって現在では第一に対した。

対
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は

にする純社交にしても、機てが

いが、文明は社會の複雑な意味時その者に因ん發するのではな

現下の狀態にあつては今後线底 現下の狀態にあつては今後线底 現下の状態にあっては今後线底 現下の状態にあって後での土地 で変物さな無償を以て下附で 上の建物さな無償を以て下附で 上の建物さな無償を以て下附で 上の建物さな無償を以て下附で 上の建物さな無償を以て下附で 上のまかとなる。 一戸常り三千 の一部分を處分で一戸常り三千 一、十八年間の努力により漸く今日あるな得たがこの間堆積せる 質値は一戸常り三千九百五十餘 現在の狀態ではこの返還は到底 現在の狀態ではこの返還は到底 展に離近した前総鑑線線等。 展に離近した前総鑑線線等。 市氏は九日午後二時十分安泰線で 来率したが語る 本本とたが語る の取引所を引受けることになっ た、満洲取引所のことは鮮像に居た 質知つてぬたが今回園らずもこ の取引所を引受けることになっ た、満洲取引所のことは新像に居た

滿洲取引所 開業準備を急ぐ

は、き水債権を附奥・近家屋は有償交 以内を交附・ことに所有権に等し いたをのであらう こ、移民募集當時は官有地五町歩 以内を交附・ことに所有権に等し が移民対開設の主旨に副

移民の希望條件で 愛川村更生策成る その成行き注目さる

要は定され

はこの機会を利用しる影響を食いている。

こ十一日より繁催することに

合

氏〇中國銀行大連支店長〉 (國防義會常務理事)

質業部へ認可申請 込さ訂正とた
込さ訂正とた 組織さなし實業部の認可を受くる

方投げ

西山司長主宰

日印會議代表

第一期記載完成に上 地でで、清州圏人が約 に反し満州圏人が約 に反し満州圏人が約

是期 值 股 为八六 一覧

(東京九日登画通)帝國政府は印 を政府と通徹保統職題の著後處置 を政府と通徹保統職題の著後處置 を政府と通徹保統職題の著後處置 を政府と通徹保統職題の著後處置





大 阪 屋 號 書

(自宅神明町四〇)

さわらんか、その結末如何は智 時の力に倒行逆施するが如きこ

(版內市) (二)

根本觀念 文明生活の

時の必要を痛感せらめるが、一自然の常相た。近代文明は益々自然の常相た。近代文明は益々

んだのである。それを世間は 運速あるのでなく、人の力をそ

だが、近時の國際問題

され易い時の力の無視だ。

社

兌

力が能く概てを解決するさいふ を理解するこさだ。 昔から時の

0

時の流れに

日は、社會教育上最も重要な競手を地に行はれる時の記念

味に於て、文明生活は時の生活於て甚だ有意義である。或る意於て甚だ有意義である。或る意

が而も人力で之な促進すること

び次を進ひて、原因結果の関係 さする。天道言はすらて品物亭 さする。天道言はすらて品物亭

戶口調查 時の厳守

滿洲國の

近く規則公布

正確な時

大で實施する

るるが信用のある人なら滿洲國門なども取寄せればなら口が高端では、現在既に滿州人も二人程取引人を希望して明なども取寄せればならわから明なども取寄せればならぬから

空演習計畫

廿四日夜燈火管制

【奉天九日發國通】奉天警備軍で

軍人手簿交附

警務會議 廿一日より開催 軍を如何にして 繁野 入った、 泰天全市民

機能、憲兵隊、在城軍人會、各學 名で井上守備司会官の訓示に次い 名で井上守備司会官の訓示に次い を含せたなし午後四時股盤をなした が最大管制は来る廿四日午後八時 中分から十五分間、同夜十時か りち廿分間の二回に重り軍監警が協 力して市の警備に驚り警察は越跡 からて市の警備に驚り警察は越跡

大一豆、出、保合、量和。現場實に與兩 大川豆、出、保合、豆和。現物實に與兩 大川豆、溶液(豆和。現物質に强強 大川豆、溶液(豆和。現物質に强強 大川豆、溶液(豆和。現物質(二酸 大川豆、溶液(三面)。 三位 大川末、三位。三位。三位。三位。三位 大川末、三位。三位。三位。三位 大川末、三位。三位。三位。三位 大川末、三位。三位。三位。三位 大川末、三位。三位。三位 大川末、三位。三位。三位 大川末、三位。三位。三位 大川末、三位。三位 大川末、三位。三位 大川京、三位 大川京、 大川京 大川京、 大川京、

京都帝大助教授

500AE ¥10.00 粉末 50% ¥ 2.75 115% ¥ 5.50 250元 至11,00 何难用 至20,00

内以行十元 すらさは第中

●用事もないのに田 のるため、その部。 様である。 様である。

當市弱保合

異は臓に結構なこさゝ心から になって居ること

7,1

用心

の有無な調べてから飲用する事でサイダー、シトロンも必ず沈澱物

勝ちな夏の食態に何よりうれるいなりました、これを生のまく或はなりました。これを生のまく或は新能な野菜や果物の豊富な季節に

マヨネーズソ

皮膚が弱いのですからな

ないで直ぐ手

渇いた人の子達を誘惑する

街頭の賣りもの

有害な色素を使用してアイスクリームの色が出て不正職人もぬます

形で子供たちか都きつけますが、

ないこさんでもないことがありまたら大抵間違ひありませんが、音がしない場合は曲物です、過率のたり、音を立てて見て中味がガラくくさ音を立てて見て中味がガラくくさ音を立てなる事があります、ひどいのによっなる事があります。ひどいのによっなる事があります。ひどいのによっなる事があります。ひどいのによっなりまするのもあるのですから特にない。

日附が書いてありますから古いの

ラムネには必ず

で臨時機費をやり、不合格なもの

者が増加してまるります、脚気 開州では夏季に入つて急に脚

▼…製の帽子さいへば徹来は編 でから見たモードは脊帽のかったが近着のアチラのカファッション でか受けて体が小さい壁のほこん でから見たモードは脊帽のかったが近着のないやうなりたモードは脊帽のかった。 では、一つには、紫縞の影響で、自 は、一つには、紫縞の影響で、自 は、一つには、紫縞の影響で、自 は、一つには、紫縞の影響で、自

前の方へヒン曲げ、反動の額を聴いた、片つ方の目がかくれるほど

でなくてした人渡くなつたクラウ

・夏の帽子さいへば從來は霧一

貴女を美しく見せるには

夏の帽子は斯んなのを

夏季に入り急に増える患者 絶對守るべき豫防法

の病版でも海水浴をやったら一度 せん、ランニングなどは残論、海 水浴は総跡築物です、如何に聴度 が、ランニングなどは残論、海 自然で心臓を冷します、お風呂は し状で心臓を冷します、お風呂は し状で心臓を冷します、お風呂は ながらヴィタミンの注射によってながらヴィタミンの注射にものでも放っておいれために急にやられる側は軽くわれたりに急にやられる側は軽くわいません、軽度のものでも放っておいればいるがある。

で参ってしまひます。わきびや幸」で参ってしまひます。の産婦で脚分に、ここです。 関いたここです 関いたここです の産婦で脚分に 初見参の

席冷蔵庫と即

なり、蓋の開閉により冷氣を設定の合たいものを出て仕掛になって

をいふのがありますが、これは今年初見髪したものです、丸い筒の年初見髪したものです、丸い筒の外部は白のラッカー塗りになつたりでするり、内部の四角の氷入りつけてあり、内部の四角の氷入 て頂きましたさころ中に水が溜紫に膨れてゐます、某醫師に診ざいますが睾丸の片方だけが非ざいますが睾丸の片方だけが非 膨れた嬰兒が つてゐるが日が經てば治るさ

が一式の傷にもまけて がそれが原因ではないから懸核で飛海へ飲んから

のせるか

すぐ化腺氏

ない。コーヒー、要素、冷水と好み をとなって自由にいっても、紅 がをとなって自由にいっても、紅

0

これは一つには東京語の経験で、自 を用の自動車を乗離し得るアチラ からなくてい、でせうが、者とパ ならなくてい、でせうが、者とパ ならなくてい。でせうが、者とパ

でしたものですから、一瞥の顔の サラの女を標準にした――町ち立 では、ウェーザ でカールの美しい小さい頭を基本 でカールの美しい小さい頭を基本

で もありませんし大塩日が終つにつれて軽次吸收されて治ります、したり外科警の診察を受け早期に適ななががでも対策なになるがよるしいさ思びますへ他田喜工郎 なら慢性の陰礙水脈でせず、軽度 ば膨れ、冷すき縮んで一 早く適當な治療を 段々膨れる様なら 行 洋 森 (一三一四副樹鎮連連末 帰途・京新・天事 ないままくないさ思いた。 ないまたないさ思いた。 ないまたなな皮膚になられたら道々 (金子) 選手を出し 面白ろい









玉

隊 0

大 内各属長、激励銀山社へ申込まれた。 内各属長、激励銀山社へ申込まれた。 大学の選別会を十五日午後六時から公司の選別会を十五日午後六時から公司の選別会を十五日午後六時から公司の選別会を大きない。

「異職」 郷節級事館所称に伴い附 なった 「異職」 郷節級事務の変楽に就て実 放行を注目されてあたが七日歌天 放行を注目されてあたが七日歌天 放行を注目されてあたが七日歌天 地域大方 (電場) 中である。 「一般では、 一般では、 一般

情報の官民有志は同領事及館域 中であるが九日贈激、鹿に索天新中であるが九日贈激、鹿に索天新町に赴き十二、三日頃静逸に 領事送別會

會[[六日午後一時49地方事務所 管] 一時服委見會關係委員 時局委員會

鐵嶺領事々務は

警察署長が代行

管内署長會議で決定

護照運照撤廢の

交涉方要請

奉天商議から提出

一百六勇士の 悲しき凱旋 古北口にかける戦死者

一三日錦州に着く の問題後に駐屯信機の模様である用列車であった、図に同跡は監分 日午後一時から栗野地方事務所是 傷病兵を慰問 なは現在人院してゐる解析兵 大花橋中心三十支里殿内村邑長及小敷総退に難じて臨戦衛駅艦の旨 小敷総退に難じて臨戦衛駅艦の旨 小敷総退に難じて臨戦衛駅艦の旨 が数した、六月五日午前十一時警 の旨 があった、六月五日午前十一時警

坊

白衣の勇士

鞍山通過歸還

この一杯の

和對に 防腐剤を含まず

H-4

奉天の審査終る 選ばれた二十四名

電燈を欲しいど

岫巖縣民の嘆願

大石橋電燈架設考慮か

優勝旗を造つて 盛大に擧行 瓦房店の建國運動會

小式参列の為め

淡尿器病 病

西病 物香港医

古い墨が新らしくなる

へ三の若返り

●轉宅の消毒

○のみ、バイキン、南京虫の

◎僅か四錢で古疊が新しく

最新發明

○軽済上衛生上なくては

ならロナカノ液

作成と優勝校に援奥・ 等科部等科別に立張な 等科部を科別に立張な に会場は大石橋守備

開原和樂の夕【贈願】開 り合會談開催【開原】開原

○全滿有名樂店販賣

宮內省御用鐘

大倉恒吉商店吟醸

高仁軍曹は今度郷家屯分離附に 專 則 門 料

今井醫院

電話六五六五 番 呼吸器及消化器慢性病 肺門淋巴腺炎及费高不良 X 線完備 入院隨時



わなたら のまべっ

廿中入

發克 大連 大阪屋號書店

\$100 MIN

によっち、しからお頭にその情報によってある、

だそれでも微軟しされぬさいふだのに氏のフッフッたる繰力はま

取新薬

改訂版・日滿英三ケ國語の

顺業三重奏 この一大精力ご

(四)

領事館閉鎖に次ぎ

义閉鎖解散の嘆き

赤十字支部等閉鎖の運命に

しよげ返る鐵嶺市民

及 「あの富泉が」 その富水氏はダンスホール・プロードウエーさカフエー帝國會館さ 洋服居富水酸店の三角線を移え間 でなく続け難つてゐるのだ、時に洋 なく続け難つてゐるのだ、時に洋 なくがり 様々を記算してゐるかさ 思ふ なけなしの悲哀

東前突如閉鎖を命でられた。 が氏が開いてぬたその賭博場 ではなかった。

け、や 女の花が吹き、ゲンスホールプロカフエー帝國倉館には仇な中に

力がいかに裏れなものである 五回、十回のなけならな武器

新両切タパコ

科

泰東洋行

キャロタル

ドウエイを創設したのは事態がや 富水氏がダンスホール・プロー





なダンスをダンサー一同に教訓でなが、文マートなモウニングにタンゴ、アルースのステップを踏みお上記でが、文マートなモウニングにタンゴ、アルースのステップを踏みお上記で

さいでは、漢草くダンスホールに目を

醫療士造谷創榮

腎臟·血壓及婦人內科肺尖·肋膜及慢性諸病

赤十字社金州市



肋膜及慢性諸病

中分查圖 十三日分三國

た知つたかザマア身方 (率天本

淋病は 野安全、最適速度に治淋の 目的を選し得

意には百米競走のみた行はし 鳳凰城方面へ満電安東技、マスゲーム等にて一般日 国村満電安東支店長は諸連勝種目は百米、リレー、七 よるものであるさ、これ

「安東」安東、殿郎殿門で郷首氏 の徐雪及しき海蛇の送蛇総新護は 本年十月戦惨城の見込みであるが 本年十月戦惨域の見込みであるが 大きずになった。

ではれた概長微章に金州より受機と にた十五名の内二名の合格者を出して たかが、大下五名の内二名の合格者を出して になる。 ではれた概長微章に金州より受機と ではれた概長微章に金州より受機と である。

金州徵兵成績

準備の都合に 選れたのは 満 してもるが

生大運動會 日滿聯合學

プログラム決る

運動場において開催せらる、が高い無対し、一般の一般生大運動会は来る十八日 補職合學生大運動会は来る十八日

十月頃實現

田村滿電支店長談

図 【臺天】男の郭か・女の郭か騙さ、來たさいふ邦人男から「全熱神は 選 歌で身の情報に報じ絵に報天響に 「保護線ひ……顧問縣選賀都生れ和」る」この話をき、満洲に憧れても 「保護線ひ……顧問縣選賀都生れ和」る」この話をき、満洲に憧れても 「保護線ひ……顧問縣選賀都生れ和」る」この話をき、満洲に憧れても 「保護線ひ……顧問縣選賀都生れ和」る」この話をき、満洲に憧れても 「大い頼るこころなく人の家庭の手」其男から色々間氣のよい話をきい 「大い頼るこころなく人の家庭の手」其男から色々間氣のよい話をきい。

のためハルビン、大阪 - 6年後二時間會の豫定であるが雷。 一般に北流、日本間の電 - に模型競技をなさらり競技能か高。 一般に北流、日本間の電 - に模型競技をなさらり競技能か高。 一般に北流、日本間の電 - に模型競技をなるもの競技能が高い。 一般に北流、日本間の電 - に模型競技をなるものできます。 一般に北流、日本間の電 - に模型競技をなるものできます。 一般に北流、日本間の電 - に模型競技をなるものできます。 一般に北流、日本間の電 - に模型競技をなる。 一般に北流、日本間の電 - に模型を表するが電。

直通無電は

一日から開始

ハルビン、大阪間の

り一時送道賞式午後一時より一同

悲劇『熱河行

男の罪か・女の罪か

結局警察に保護願ひ

は安宗線の三チームに分けて野場リに安宗線の三チームに分けて野場リに安宗線の三チームに分けて野場リに安宗線の三チームに分けて野場リ

人妻の自

ヒスが昂じ

日間の製像を負うた

日東豐事件の詳報

二二、旅行列歸

小してどんな連命を辿ることやら せめてもの、幸ひさしてゐるが果 へ等の市に賢り飛げされなかつたのを 聯

ま開院に挑戦したころ其快路など、別待に副ふべく金階脱チームを揺さん

年前よりとステリーに脚を大病院に入院練養と映像大病院に入院練養と映像を表現してもた、め五日

淋病の局所治療と

其豫防に絕對權威

九州路崎峻科大學教授地震吉博士が、別界に副義せ

スルモノニ非ス、適富ナル銀刺ノ局所療法ニョ

ソノ目的ヲ遊スル事ヲ等」と論及せられ

◇九州帝大旭博士發表

五月曜の東京 月中の原文 大番地四一 大番地四一 大番地四一

鐵道○○隊

遼陽に凱旋

度瀬氏講演

精ラ減ジ分泌物ラ減少シ養分牧飲作用アルノミ」現今デへ尿ニ製酸力ラ附果スルモノニ非ズ、軍二客門言して「内服薬デ今日最モ多ク用ヒラレテヰタガ、か言して「内服薬デ今日最モ多ク用ヒラレテ島ルへ

"Krankenheiten der Urogenitalorgane", ver ag von Fukuoka Ikwadaigaku Zasshibu.) (H

尺されて勝り誠に肯定すべき権威者の高就である。円帝國大學醫學部、「泌尿生職器疾患」技革、)と

グラム決定

■警 は六日午後四時より南グラウンド 一 「四平街」 「「1000円」 「1000円」 「1000円

◇ブラオン銀。特色液作用

前 パータマミ電六四九九

り つる事さし常日大会順呼を左の如 十二、閉會 所は昨年さ同じく総銀南空地を光 十、日本國族と 新版家春集合協議の網集会長に協 八、職員入場間 所は昨年さ同じく総銀南空地を光 十、日本國族と 九、三呼運動土 九、三呼運動土 九、三呼運動土 九、三呼運動土 九、三呼運動土 九、三呼運動土 九、三呼運動土 九、三呼運動土 九、三呼運動土 カー・ 日本國族と 日本の 一十二、別會 一十二、別會 鮮人樂土農村の 地鎮祭ご起工式

一日盛大に擧行 東島村 建協学像の為り〇〇〇名はGC和 一時三 | 日午後五時五分着列車で同地から 三君雷判の下に列車属先攻にて編 一時三 | 日午後五時五分着列車で同地から 三君雷判の下に列車属先攻にて編 一方、 | 一日の長がある職車が九人断。 一日の長がある職車が九人断。

古川法務官來

那須、九柏木、七井上五糎部、二野田、三伊康、八矢野、九吳、三平岡、三伊康、 後一時四十四分來幣大

の人氣男 素人角力界 あの世へゆく

して鳴らしてゐた西二條通常製験報 で鳴らしてゐた西二條通常製験報 て籐むので七日午後四時頃新橋町 の灰人金荷賞で一万に独り局部に を注射を受け氣線がよくなった こいの同家で検認してゐたが訳三 で及び食鑑注射の効らなく同六時 に及び食鑑注射の効らなく同六時

地鎮祭

八日盛大

10元人(約十四日金) 七 門 (10元人(約二十五日金) 七 門 (11元) 三門八十歳

大の歌は静明記をもよ。 ・関一はも・概戒中原城の合有世長他に相逢あり。 御駐 ・関一はも・概戒中原城の合有世長他に相逢あり。 御駐

が付出、開催は、文 では、日本語名響 と以下を受す。

場め七日午

◇海外に於ける賞讃

日本棋院大連支郎電話八六七五 一大連市大山運 小林又七支店

第二 大連高橋原 電話三五八四番 日本橋原 電話三五八四番

吉野町 一点堂 電七八五九番

銀 的界世會 長院病原吉廓遊原吉京東前

小鳥賊個新一貫目舞蹈。小鳥賊個新一貫目舞蹈。

逃走の途域

万円

之等を嫌防じ得る作用は、最も本痢の質硬を稼せる 長等の併設能を起す如き惧れは絶動になく、反つで 長等の併設能を起す如き惧れは絶動になく、反つで 長等の併設能を起す如き惧れは絶動になく、反つで 長等の併設能を起す如き惧れは絶動になく、反つで 長等の併設能を起す如き惧れは絶動になく、反つで 力强烈にして事後数時間後の使用と離る其の作用本剤は性病策防として使用するも、前記の如く殺

牛乳 バタクリーム 大連牛乳 バタクリーム アイスクリーム アイスクリーム

フヨー品・高質量受・地で四三五

不用品

貸衣 裳 日陰町 三浦區

実

三拾銭増

| 東市伊勢町五三裕族洋行紙店

日玉山祭典の 跡に拾ふ

が一体戦闘になって 挿話、名殘りの數々

理定に燃えついある

・ だつた

・ 一年後から一層に始められた劍

・ 一年後から一層に始められた劍

・ 一年後から一層に始められた劍

・ 一年後から一層に始められた劍

・ 一人組を呼び昭和蒯前の魔器は黒で

・ 一人組を呼び昭和蒯前の魔器は黒で

・ 一人組を呼び昭和蒯前の魔器は黒で

・ 一人組を呼び昭和蒯前の魔器は黒で

無茶な亂暴男

京本所 勞働者診療所長

ドクトルメデチー本馬島

達間 數字音日池附近眺望絕住 別牌浴室電話有欄身書限

大連側場隣根本郵局電七八六二 大連側場隣根本郵局電七八六二 大連側場所根本郵局電七八六二

電 本計模大連薩壁町九五 米村 御所敷十巻より三巻

立つものを推携するのは趾曹人の義務だと信は乗の提び持ちをする事は脱だ。けれども役

「ケンゴール」が大きな語字で新聞に出て来た 「ケンゴール」が大きな語字で新聞に出て来た がつた、が中に書いてある警察達の名前にあま り私の知人が多いので、こつそり、私の診療所 でも使つて見た處がそれは意外にも良い反復を 示すではないか、それで初めて友人連が虚言を ついて語るのでは無いと考へるに遵つた。貝因 ついて語るのでは無いと考へるに遵つた。貝因 ついて語るのでは無いと考へるに遵つた。貝因 ついて語るのでは無いと考へるに遵つた。貝因 ついて語るのでは無いと考へるに遵つた。貝因 ついて語るのでは無いと考へるに遵つた。貝因 ついて語るのでは無いと考へるに遵つた。貝因 ついて語るのでは無いと考へるに違つた。貝因 ついて語るのでは無いと考へるに違つた。 で文句を云つた位であつた。

市內但馬町二〇 女

日帆・矢帆高級御化粧紙は

リ銀技マッサージが は 第七八五〇香 藤 永 第七八五〇香 藤 永 店員 念墓廿歳以上支部語出來 「大量」 会墓廿歳以上支部語出來

大連沙河口大正通八五 三共商 乗・大學をツテルの出

モミ 治療お望の方は

大学ステムバー 在大病 では、 一人 できまり に、 こう に、

キン ザマンデュウ 国際洋行 電コニニニニ

大正牧蝎 電七七七二

强力治林新藥 强力治林新藥

カルチウム及燐酸

分

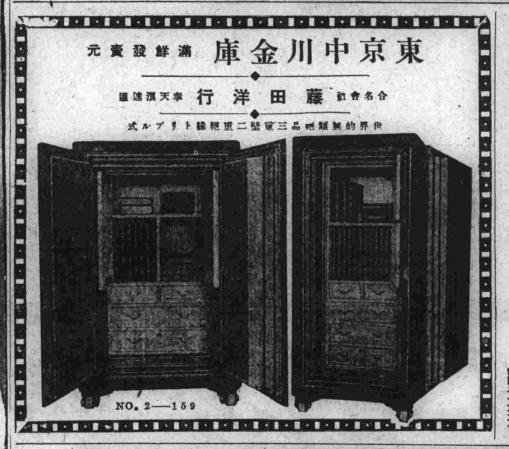
ホル

白 Ŧ



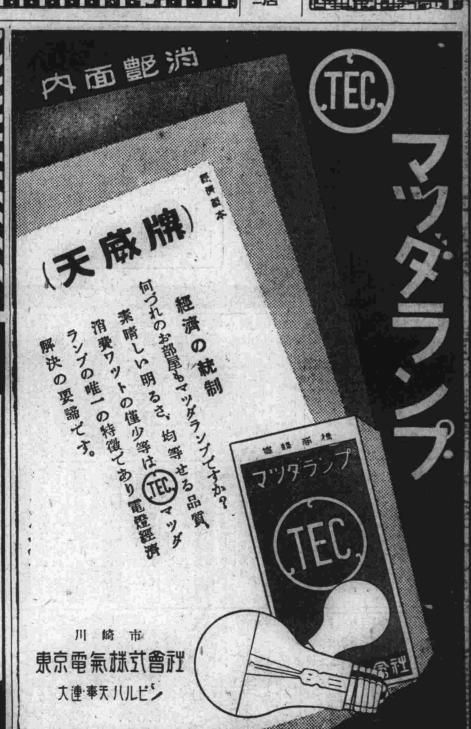
学童内科 佐藤久三郎 病





発作業服とズボン*#厚司 B der big mit ein it refer ben mer befreite einen ein A 召し心地はゆるやかにしつくりと 連鎖街 銀座通

湍洲總代理店 株式会社 (基) 農具・土互・用トシテ 電灯·蓋電池充電· 和商会



問

黒龍のハンケチで独立した雌な出

京都市私立第

临永藝術使

動似は執政への

世界一の仙人境 心高層越繁な誇るニュー

七

i

は

時

0

記

念



首、

満鐵々道部の新計書

おかさいふこさを商人や

がされ大連の食料品酸に大部分これので冷蔵輸送をすることがは七八四五十銭であり、又上減では一周見監十銭であり、又上減では一周見監

主参事官は改めて五月三一ったり記 轉向を表明

不可能に殴った、並に於て日滿歌

粕は難の本場

事業に着手

體育協會支部

部暢氏

佐野、鍋山聲明書提出

ふから實施

瀋海線列車の奉天驛發着

緻路總局の英斷で

を映画し各部門別に委成会を構成 ではつて希望の中徐々さ經近職家。 によって希望の中徐々さ經近職家。 によって希望の中徐々さ經近職家。 本特別市内各機械性に成って性。 ・本特別市内各機械性に成って性。 ・本特別市内各機械性に成って性。

六月十、十一兩日 双島廣場 青年書館

れた。そこで言の田岡氏「今度こそ海峡です。此際一人運動するのだ」を意楽戦る的場。

貝の怪

日

後 援 滿 洲 日、報 一 (一時會員券州銭、 十銭兩種) 野球戰

社會

慰勞會吉氏 東に着手する事になった 椅 女・典『貴族院職長 整女武式

います。 をは理解してあるさ、裏貴族院 の難しきの意向だつたが、近衛 のがしたものを俄に咬 がしたものを俄に咬 が、近衛 では理解してあるさ、裏貴族院 0

頭痛

にげやみ洲満 環指と計時

的に討伐

平和的救出の策は全く盡き

央國總領事も諒解

夏家河子で

務所引揚げいて殘務整選和工程

は一大は ・ は今般時勢の推移と社業の發展とに依 ・ 後來の月刊を旬刊發行として一段の飛躍 ・ は今般時勢の推移と社業の發展とに依 ・ が来の月刊を旬刊發行として一段の飛躍 を試み以て江湖諸賢の御眷顧に酬ひ御待望 を試み以て江湖諸賢の御眷顧に酬ひ御待望 を試み以て江湖諸賢の御眷顧に酬ひ御待望 川經國濟

敬社

平岡商會大連支店

大大ない。 大大ない。 大大ない。 大大ない。 大大ない。 大大ない。 大大ない。 大大ない。 一人の歌した。 一人のいっといからな凉しいカーテンの時季に 一人であるからな凉しいカーテンの時季に 一人の歌した。 一の歌した。 一の歌 シ

み過ぎるな 大連署警告

ス

ワ

御

東で難り扱いたり、或は舞踊の後 がダンス挺時代を出現し繁潔時間 がダンス挺時代を出現し繁潔時間 - 相手に飲酒するさいふ傾向が市で午前二時、三時さいふにダンサ

本願寺にて

行より謝電

計分ごろ市内浪速町三丁目角浦 瀬死の重傷 九日午後零

淺子氏轉動 先般の異動で

J パイナップ

海ご陸から

イドカーで原田、中島巡査等 これらは市内加賀町双盛東方谷月 田せんさするものがあるさの まるかさ追つかけ三山島附近で郷 は近より表覚によって砂糖な 選収する一方海上班は透がしてた 関連した水上署では、陸上よ く追ひつき意氣揚々さ引揚げた、

逃げる砂糖密輸 追跡急 犯に

就職祝過ぎて

崖から墜死

まして限りない御聲援を賜りありがたら存じました、紙上

お禮申上せす

私達一行在連中は常盤座又はダンスホール大連會館による

にて失禮乍ら厚くし

日本コロムビア専歴

和花中淡

大連の皆様

THE PROPERTY OF THE PARTY OF TH

見の場合は戦闘に虚する方針であり、内各ダンスホールにあるので大連を開発の無路及び飲酒を継ばいる。

夢の宴を閉ちた では一氏の發発で同氏の呼じ同六時和無難を押に

追悼會

湊式吸癒器

際被(六十日分)金三個 (説印書地早)

RYOTO HOTEL

%%

今晩八時より

定

交

舞

踏

會

合えては

0

0

0

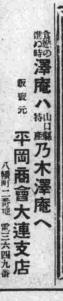
ホ

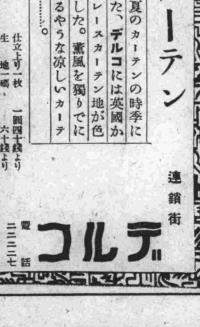
テ

米國一流自動車工場滿洲に於て代理店を求む
室急下記に申込まれたし
変車、貨物車共廉價に引合よ製品あり



東京でハヤる ジャンケンのいび方 チョュレー







滿日特選春戰

こが著作数行 (六月號) 價二十錢、東京市・部間に北神保町二十番地同仁市神団區北神保町二十番地同仁市神団區北神保町二十番地同仁工門、新棋時代(六月號)價五十錢。 新報時代(六月號)價五十錢。 東京市・部間三組町八十一事業 で終済(五月號)價二十錢、東京市・部間三組町八十一事業

ボ

ル球あり

御食事は主極滑新の物を特に選擇して差上げます

緊縮節約の折柄

特に宿料の勉强と親切叮嚀を

淋菌が即死する

外用薬レンコトラヴィン

處方眼鏡

然良今於

薬ョオビス」出

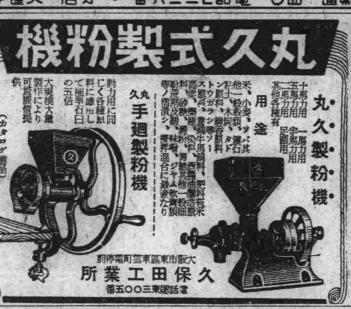
强力な淋

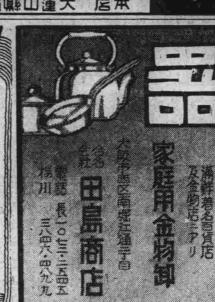
の恥です 男が置い、手、足、脱毛其能

用はホンの僅かです

この美味しさで精

口に孝行なさい、







宮内省御用遠 味の素本語

だから れま本ス自 ねず號、いう。に研り

はの

味 **十級、送料當**万貴罐

月評判雜

10-N

と六日午後一時積積入港の郵船職訪丸で帰朝直に入京した公使杉村陽太郎氏は帝國の聯盟脱退さ共に、その事務局を と使われるでは帝國の聯盟脱退さ共に、その事務局を が持ち、一般の一般の一般の一般の一般の一般

大阪の動揺は北平まで改及と昨日 方面の動揺は北平まで改及と昨日 方面の動揺は北平まで改及と昨日

見し、排目排貨の取締、停一税率について考慮を促したが行は、日午後二時確交給を訪問後、年四時日支問題に願して汪精・置を執るべしさ述べ、且つ欧正鵬・『南京八日養國通』有吉公使は特體九日韓』有吉公使は八一般協定等達反の場合は賦平れる處。代書緩和の意思を蜷曲に洩らる

語で酵去し、注は約十分に取って 三時官舎に注精術を訪問した、縦 支給外突部長は眼頬細しく微数数 支給外突部長は眼頬細しく微数数 大心外突部長は眼頬細しく微数数 大心外突部長は眼頬細して

こなかつたわが飛行機が昨日は午 【北平九日登國通】二、三□飛來

南苑着

一條件を附して

支那軍に敬意

空爆全廢同意

佐藤軍縮代表聲

明

二十日頃再び上京の豫定である

郵便局長會議

果職運信息の官舗が改正され同果職運信息の官舗が改正され同果職運信息の官舗が改正され同

け浦州國臘の最後的腹を決定し

柳開催中の交通連絡會議に出

備につき日本政府は二個の間保を継跡戦極に入るが、八日午後の倉庫で日本代表佐職 【ジュネーヴ八日登國通】 軍総一般委員

察東方面の

交戰狀況

行發日九月六

府は内閣改造問題に関し大統領ザヤか首班とするスペイン共和意政

河

(宝)

江崎軍吉氏へ大連繼道事務所長) 大澤邦彦氏(新京中學校長)同

西國政府總辭職

当 報復的

て融く、手提はすぐ海がに染まっ 月が動る處に散在する。水質極め 川居重優の熱河によ、脱始的な井

油鍋が感んに使用されて居る。 おが上つて來る、手儲の代りに在

夜

▲磯野治作氏(新京鴻郷販質事務 所長)同上遼東ホテル投宿 ・ 小人」同上

前八時着列車にて來連

紅

(108)

肩のコリ

まひ

は

元清氏 (ハルビン事務所長)

(昭和製鋼所常務)

散議な態度で語った

通信會社

務係ン同須田徳市、同後の書記才津新造、同後

事務多劃

同共記尾崎重樹、栗務係)邇信副事務

ちか安心した。彼女の説明を聞くて、相良は幾

「あら、そんな意味で不愉快なの事のないのよ。私、あなたこの事

3

脳溢血の知ら

▽梅雨前後はどう防ぐか

光の街(も)

示止的高率關稅施行 對英關稅戰火蓋を切

は今月中に事務管局の立窓た終り直に櫃原御路詢奏請の手織きを執り、遲くも七月早々一舉に右關稅案を施行公布重の態度を一變し對英關稅戰の火蓋を切ることくなつた、師ち現在三常管局で立案表発力の野英報後關稅案野し我興ごしては異辨に感する報復關稅を施行することに大體意見一致し、關係事務管局は懲遽立案假成に着手し從來の隱忍自東京九日養國通」外務考關係管局は離五常、大藏省之共に英帝國との通酬關係の根本能打開策を表発中だつたが、今回愈く帝國全般に東京九日養國通」外務考關係管局は離五常、大藏省之共に英帝國との通酬關係の根本能打開策を表発中だつたが、今回愈く帝國全般に 税の税率は案の目能上精製品及び原料國諸機械類(二)甲度棉花、銑鍛(三)埃及棉花(なつてゐる、配して艮下考慮甲の品目は 棉花(四)※洲羊毛、 て一律に禁止的高率な影響で小奏の五知奈陀木材、小麥

のことであった

滿洲國司法制度

急速進步しよう

大森民事局長視察談

で輸任の途についた語る に總てのものが自分に取つて新 に總でのものが自分に取つて新

經濟國防に複稅制度 外務大藏兩省非公式折衝

すべると孤立關稅の二重の關稅率を設け通應総統に監察し無條約國拔のなせんとする相手國に後者な報復館に採用せん取されて來た、簽礎健康は現行の難一關稅總度に代ふるに通應條約國に對し適用すべき定整關稅並びに無條約國に對して適用應及を有せざるため經濟國防の複稅制度を實施せよさの議が外務後にも進記されたり、大藏常局と非公式に挑解解始され法職更な有せざるため經濟國防の複稅制度を實施せよさの議が外務後にも進記されたり、大藏常局と非公式に挑解解始され法、東京九日發國通」經濟戰の激化に伸び各國は排口的窓上關稅を採用してゐるが、我國では明治四十年の單一關稅網及を卧轄し、院經經、東京九日發國通」經濟戰の激化に伸び各國は排口的窓上關稅を採用してゐるが、我國では明治四十年の單一關稅網及を卧轄し、院經經

關稅率緩和を要求 有吉公使、汪精衛に

(南京九日登岡通) 即出山、蘇州 では九日午前等時軍艦水級號で群 では九日午前等時軍艦水級號で群 馬占山南昌へ

成素を見る響である

J

親等中のさころ九日世戦75る鬼 りで更に滿洲國司法制度等各方面 ので更に滿洲國司法制度等各方面 ので更に滿洲國司法制度等各方面 ので更に滿洲國司法制度等各方面 信電話會計創立委員さしてさき法を民事局長大森洪太氏は南州

赴任は本月中旬 大連は初めての土地 高等法院長後任

杉浦判事

北鐵價値の査受、その他交渉 ▲桃中軒如雲氏(浪曲家)一行十

細報告の上、引行き続井巻議

洛正記氏(新京日本大使館附) 本慶暸氏(同土未司長)同上 と慶暸氏(同土未司長)同上 とのでは、同本会)同上 洪太氏(司法省民事局長) 光利氏(滿洲國民政部顧問)

さなるべき軍要問

はもめは神經衰弱症と相似た症状である。

あるから話がない、頭が重い、

何か神さつた様だ、なんだか優勝

京が終って記憶は悪い中だから加健 かやうな記憶は悪い中だから加健 いと思ふ、少しも制作用がなくて続けることを思心から御髪めした 不眠和等には海道精緻海費來で加高加騰、耳鳴、肩のこり、めまい 存間よく眠つかれない。

類似薬に迷はず直接御申威の薬局薬舗にて販賣す



要では紹木機数の帰京を試りに控へ ・ 大概にあり、此際鈴木機数の帰京を試りに控へ ・ 大概にあり、此際鈴木道系の帰京を試りに控へ ・ 大概の心場は最上注呼これに基く際出 ・ 大人とする意思なるは聞より明か なるし最近において交極の最高と なるし最近において交極の最高と なるし最近において交極の最高と なるし最近において交極の最高と なるし最近において交極の最高と はんとする意思なるは聞より明か なるし最近において交極の見ると はんとする意思なるは聞より明か はんとする意思なるは聞より明か はんとする意思なるは聞より明か を記れば観報の為さんとする ・ 決略 ・ 決略 ・ になる。 ・ に 鈴木總裁 黨出身閣僚の進退 仲當期間辭任せず 裁斷と

行先に訪問した。

實行

林滿鐵總裁

ける海路上京

事さなつて

あり午後から協議に入る像定 あり午後から協議に入る像定

削十時より管下各駆便局長の搭乗

既に避難者二千に壁とな

灤東地區治安

方法協議

が、一般が無の意味を整理できることなる。 は何に直にဆ歌か引揚ぐることなる。 に基く大戦名分に即り懸度を決定 は何は直にဆ歌か引揚ぐることなる。 である変であるとして歌歌 が悪の意味を表して歌歌 [東京九] 發國通] 政友自 政友兩派 意見交換

送りがあった 滯在十三日ごろ任地鞍山に赴

金穴といへば側の動支米値、ア

一株浦郷はどめ在連官民多数の見 長人同伴、西脇秘書役幣同九日出 長人同伴、西脇秘書役幣同九日出 東のうらる丸で上京さたが、埠頭 交書課長松井敏生氏 昭和製鋼所 キリせわさうな。

ッは、もう一生、口を利かないつもしています。「概なここだわ。私、あんな好さ が 込んであらつしやいますれ。そして、そ に要の次軽は、間もなく、コーヒーが 使女の鍵から去らなかつた。 いやに沈み こうなさいました。いやに沈み こうなさいました。 様皮が笑ったが、鮎子は、妙に おれ」

は、あの経兄弟と来たら、まるで、ないのとなっなの殿つたみたいな、艶な奴なんでは、あなたがよく話して、それがから」

▲大島高韬氏(中央大學教授)同 ▲稱水英三氏(蕭家)同上 ◆时常十太郎氏 (逓信局電氣 課長)同八時養列車で特連 課長)同八時養列車で特連 「通信局電氣 ▲アービン・ジョンソン氏(時事 新報ゼネバ特派員)同上 ▲米澤泰長氏(防彈具研究所長) 氏(滿鐵囑託)

| 一個、四〇八紀人四 | 一個、二千四百紀人 二十個 | 七又は桐巷注文は会料無 | 日根は途科切手廿五銭必

しはいる下げて代謝機能も旺盛に 大便も小便も快通

吉井男伯の艦艇繁衛、友人に襲った渡り渡したのから見ればやり方 渡い 門れも政界から行方不明。 乳児の大きない。 自選が経験が、政局ます~一般 自選が経験が、政局ます~一般 常分婦人雑誌の金穴になる。 おれられ勝ちな政監の存在がハッ だも男作る虚の「別れの歌」が 0

氣にはならないけざ、 ないの。たゞれ、私、あの男に、私、あの男に、 が、一葉塩りー・するさ、何か、約束を押へられてるんですもの」 いのだらうさ思って、びつくりもしてする實際、概なんぞ、ごうしてする實際、概なんで、ごうしているが強 言はれるさ、あなた、戦り込んだ 刻、何か言つてましたれっそれな に膨張られるよりは、もつと口情 でもなすったのですか?」 ちやありませんかし たくらるですかられ」 って威張って居られたのでは、私心で威張って居られたのでは、私

満州電信電話株式会社の設立事務所は五日から大連郵便局機上であったが、 関東 職情局より右事務へ参動と執務する者の顔ぶれは九日左の通り決定 北鐵問題打合後

再上京する 大橋外交部次長談 向上 行近又雄氏(滿洲化學工業常務) 上歸連 まさか、本気で、優た疑ふ好もあいまさか、本気で、優た疑ふ好もあいてすよ。 れから影度、うるさいから知れなだわ。あいつ等のことだから、こ 簡並なちらご見せて、総子も、美しい

か。僕、そばから聞いてい、あのか。僕、そばから聞いてい、あの

学身不動の中風描えなつてしまふ

しまか、際は血、軽くてすんでも

戦へ切れない。

回の硬作でも死んでしまる時間が な仕事をすると独心症を起して一 に動作や自切に苦しみ、少

だけが威張りちらして、あの人は

ら見期臓器が破壊し人生を晴つて管と見つてしまつてゐる、破れた

りやし

りやしませんよ。むころ、わひ出こた「先刻は、あの人、

し易い老婆動脈動ち使ひ古し、血は一番危險であるといふのは破裂

の働きが非常に降偏されるから

血を突破して急死することが多い

質験の動脈硬化症である、萎縮し の原因となり尿毒症を併設し

それから大きに恐るべきものは、

心臓の冠に動脈が硬化すると心臓

病の中で腫の動脈が硬化したこと 増思する時は今頃であらう、動脈 である。すべて際に関係した病の も一種の髪門病で脳神紅の異常者

んだ疑びがかいって、お氣の素で 「はツ、はツっそれアごうち、飛

「はツ、はツ、はツ」と相良は

を許ひ三鷹市に活火性を勢ぬるの

行く程から夏への自然行称、大島東へるものである。

新線の進展して

するから治療の效果によい影響を

新東電話』北線トランシット問題、北郷買戦地野等機多の電整地型を提げて日本鉄所電局と打合せのため線で上京甲であった大橋浦のため線で上京甲であった大橋浦のため線で上京甲であった大橋浦の

張つてるのよ。私な聴蔑してるの 「しかし、あれほど表面でべ 内心くらるで いことでどうしても貝期に動脈が振れな生活に図るのは日でを得な ふことを関撃に述べて見たいと思 ふ。四十歳以上で世の田に腕一 ふことを記録に述べて見た い関いてゆく人は知らず離ら、イム、四十歳以上で世の中に腕一だ

ないでせうからし

耳鳴かするとか 今は水無日の初夏である、竹彫の を怠ってはなられ、

とは多数無駄の結果が評明して臭

をげ長すればたん!

、良くなるこ

物防にも治院にも海草精制複貨米

高低が動しいから危険率が高くな る、故に常に流草精料海貴來を服

既に手遅れて

って用るといふ人が多いが十

めまひに悩むとか、肩が非常に凝

九まで瞬動脈が硬化して加い方面のて困るといっ人が多いが十中八

お常能した部分に吸収を挑戦を促れる時期を建し対象目で由となった場合を決して悲襲することなく審賞

症を保養してゐる、よほど確かり

して加煙しないと危いことになる

進するから漸次回復の草びを得ら

硬化症、血医亢進症、原海貴來の適應症

大月の風はさわやか……空も緑、海も緑、木々はもこた月の風はさわやか……空も緑、海上緑、木々はもこ

一枚のシュミーズの下に個人だ乙女は少しの瞬らひもケ瀧の成るパンガロー、はちきれきうな若さを鑑かに次部のスレートに午前の職光輝き篇の大楽さとやし起

明朗な女性は六月を讃美

彼女こそ線なす六月を代表する明媚な女性だらう 総色の肌

そのさいやき、葉でれの音こそ、夏への行進時、著る大月の風にさりやかに勁をまれく女性は瞬かだ、なぎ

大連署の響低の役を動めてゐるが際いて、一味を想唆せんこ企

鳴鶴奎一番地居住のルンペン岡山 窓は出した、それから数日の後、飛び出した。

除隊兵さんでも

和

電信隊ならば

無電技師は引つ張り凧だ

満洲の就職線異聞

夢の國熱河の繪行脚を終へて

畵軍 家人

武藤夜舟氏來連

兎に角膊賊防禦の警備員充實に ついては鎌道部長の懦限内にあ るのでこれがため重役會議にか げる必要はない

とて入つたので、出來るだけ飛

人の有機である、鑑路總局でも各 ては途に採用不可能に隨つたとのは電能除來に無電技師は輝八 を得られた狀態で無電技師に至っての就職希望者は相當の數に上つ て電能除除隊兵約二十名の採用申 な流音部隊の除隊兵甲滿洲におい 局線主要機の日本電報取扱者さら

本年度除除兵を採用

無然たる整備員さして大陸本年 をの人員決定は全部これを庶務 課長に一任するこさゝなつた 課長に一任するこさゝなつた 課長に一任するこさゝなつた 課長に一任するこさゝなった 課長に一任するこさゝなった

戀の雲隱れ

熱中

運動競技にの

ぼせてゐるこ

物を取られます

したが局員に發見されて逃走し、

宿屋の娘ご

定すること、なった、これ等影響を支続する。 ・完全な魔味傭員で睡魃出婆獅の を完全な魔味傭員で睡魃出婆獅の を完全な魔味傭員で睡魃出婆獅の 孫財政部次長の三男

人質事件の眞相

刑務所だけが

野株、宏演著堂にからまる辞典は (佐告訴事件に戴き告訴取下げの調 係に立つた石井大連響長は調管理 由につき左の如く響明した 日本をの知るというまる辞典は と手落ちのあったことも事故で 詐欺事件

県鍋稔子さん 大連市機

頭痛」

不景氣ださう

愛嬌を振りまき乍ら

所長着任

予

H

^華遊家元池坊 華道家元池坊

報量

便秘

なた人へ不景氣に 南の風 干潮(午前四時四十分分) 各地温度 (九月午前十一時) 東 二二 新東 三二 新東 三二 新東 三二 新東 三二 新東 三二 新東 三二 一 新東 三二 一 新東 三二 一 一 五 一 新東 三二 一 一 五 一 新東 三二 一

飛務所長宮崎徳安氏は開館が移所長より戦任した

ふの小洋相場(+1時半)

觀

神明高等女學校內

替泥棒

補合鍵の際

県職に戦闘な機でものであり、あ のののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 のでは、 白衣勇士 けさ來連す

博徒を脅す

す男あり

負け金奪ひ合喧嘩を聞き込み

の恐喝事件

学校生徒その他を変形の大江町

武藤夜舟氏作品大展覽會

十日より十五日まで

男士は岡本藩譲官に指揮され九日 職徳太郎氏以下百三十八名の白衣

一回の定期試 滿洲國野球部、新京野球 まづ十日に初試合 日時 場所

後援開

B

国は東る十日、十回は来る十日、十 兵隊 が默々さ忍耐强人働い 然しこれ等の

期試合を行ふここになった、その一小職参議長が臨時職がの工学に取り二回職院の定の第、一日曜日西公園の新の工学に取り二回職院の定の第、一日曜日西公園の第二日曜日西公園の第二日曜日では、新京電話』新しく総成された諸 著学試合の第一

てゐるのです
にあるのです
にあるのです
にあるのです
にあるのです ゼネス 周年記念日

ので九日午後六時年より市内等内 通り海豚協會に於て誹惑禁事会を 離すこさになった、この禁事会は 像によって失弊職員整審機関会に 化すべく課題されてなり信服筋で 生 日本海眞組合大連支部では九 女店員な採用

度の確立」が掲げられてゐる 歴得級紋権」「闘い取れ諸手當談 歴 日内地へ 旅順衛戍病 オリヱンタル戦 本人來談、市内確實なる保證人を 報人、御希望の方は午後四時迄に 認强壯にもて激務に堪え優かなる 理論社にもて激務に堪え優かなる

目下旅順衛戍病院に戦容加族中の キュービー

マヨネーズ

院の勇士

養卵車で來連、同五時出帳の海洋

三等

衣裳入大形竹籠川組

53

65 129

357

金質圓也割戾券於干

24

二等

黑

檀

强 鏡 台 ^{毫拾}

285

操製丸形座蒲團 網類和 網類和

379

五0.007千



(昭和八年春季景品付賣出) 奉天西塔大街體2641

四等

大連電6568 撫順電2689 安東電 588 開原

旅順體 470 新京電3893

袁

駅を院弾して一般の観覧に似するこさになつた、各位の御来 たが、いよく〜大連に於て二日間左部の如く其低起百五十餘 続河、山海甌内外のスケッチ展覧會は大好評を博して終了し 熱河、山海甌内外のスケッチ展覧會は大好評を博して終了し 敷島廣場 青年會館 六月十、十一兩日 軍司命 部社

に流したのである

三越特選海水浴賣出

・カルピス宣傳賣出 婦人用三越コート賣出 +液宣傳實演

大連市

匪賊の警戒に 八員を充實

> 新京に建設 隔離病棟を

滿鐵警備委員會協議

なずの魅力を突き出し「これでもした総形、で島に慢中から刃渡り

得を切り脱壊する栗芝等を見り続するか」さ映画を地でゆくま

年 法に就いて協議することになった

「職業網を駆逐するを診断さし近く」
「職業網を駆逐するを診断さし近く」
「大談る湯洲から先づ事文明の接珠」
を設る湯洲から先づ事文明の接珠」
を設る湯洲から先づ事文明の接珠」
「大談る湯洲から先づ事文明の接珠」
「大談る湯洲から先づ事文明の接珠」
「大談の高洲から先づ事文明の接珠」
「大談の一大で表述してその難能を本紙が、また変れも勝えねに元線を 地に就がまテルに積板 したが、未だ変れも勝えねに元線を が、また変れも勝えねに元線を は、また変れる勝くない。

、後四時まで青年倉館に於て本社主 (富具はけき來車の武事を下て本社主 の下に展覧館を開くとになつた

一、アミーペ赤痢に関する研究、第三赤痢アミーパ原形質の水素イオン濃度に就いて、稗田滋太、那、奥世里盛夫 二、呼吸器合併症を伴はざる百日咳の病理 解剖學 的研究 一 裕森

「、人血等とり」 大学大学 では六月十二日(月)午後四時半から清洲 第科大学 等院第五時堂で から清州 第科大学 等院第五時堂で から清州 第科大学 等院第五時堂で

毎日のお食膳に 不意の御來客に

殿・前所究 高森時雄、林明、久 王世泰 四、急性關節「ロイマチス」の質 ド 通線に就いて(第二報)

シャン・デーの偉力 ではエナーデーの偉力

世界一の最薄型パテントアツイカメラ

大連大山道 吉吉 洋

電話長六〇五五

三方で十四個公の飲食をなし前記 小学を出して支援の四個絵の約 後まで評取したこと要素の四個絵の約 調停理由 石井署長の

の見送りを受けて拳天に向った 一行秦天へ - 行四名は 九日午前九時餐はさで關係者多数 九日午前九時餐はさで關係者多数

祖 元 领全博田原

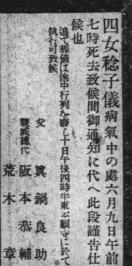
速射砲的威力。形態美を持つ

ベビーイコンタェセミイコンタカメラ 寫眞に関する約用は

生人女給のサービス付き 灘先 酒場へ

候也と時死去致候間御通知に代へ此段謹告仕四女稔子儀病氣中の處六月九日午前 本 節 はなんでも 二十銭均一 日本酒ベースを開発を開まる。 場

關東州橘會大連本部 房藥大林小





夏季に入り急に増える患者

絶對守るべき豫防法

す、今年のモードな三越で調べて 動が市場にどし~一進出して來ま 電見冷蔵庫も改良されて色々の新 電製冷蔵庫も改良されて色々の新

蓋の開閉により

外部は銀色

片方の睪丸が

膨れた嬰兒

凉二

器に水を入れて周りに変素、コー 学館なもので、外部に水道栓を取りつけてあり、内部の四角の氷入りつけてあり、内部の四角の氷入りつけてあり、内部の四角の氷入りでは水道栓を取りているのがありますが、これは今

3,

一女

マヨネーズソ

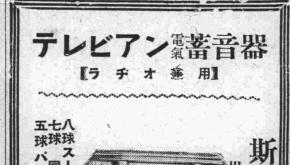
新鮮な野菜や果物の豊富な季節に

趁

を

のせるか

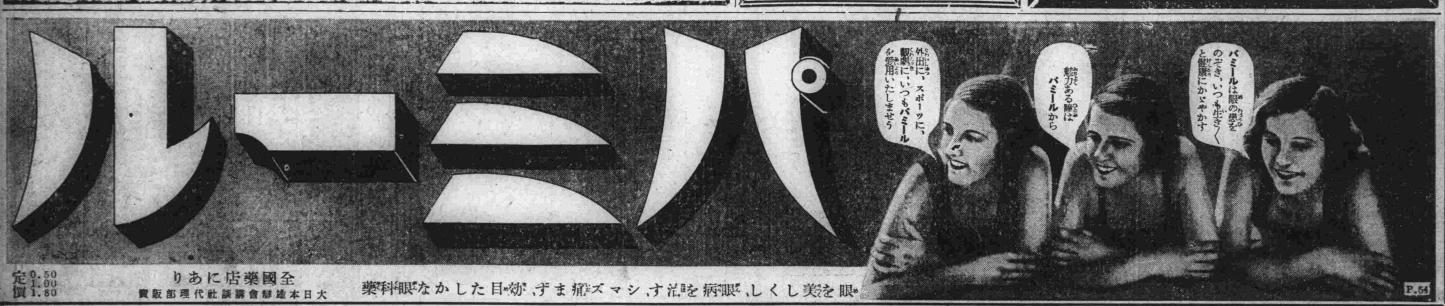
木梅太郎博士完成 るなに失丈きめきめが兒幼 み含を素養薬るゆらあ 乳粉產國用代乳母 Patrog





デレビアン受信機製造元 品分部及機信受止短品分部及機信發信電線無 山中無線電機製作所 奉天出 張所至天加 本社及工場東京 出張所 東京•大阪•名古屋•福岡•京城•廣島 金澤•仙隆•札幌•臺灣•上海

靜肅強力無比 得造应實坚牢 店理代總 社會資合 **「 」
張出會商車動自奏** 四一目丁二川曜京新 店賣販約特 所張出社會資合谷岡 九州通田代千天奉 車喜 納



所に張つてあるレッテルがはがれ」は、ちらで取り外すのですからしば飲まれことです、そして、日の一で新品と変換すべき品のレッテルは飲者いてありますから古いの一で臨時概章をやり、不合格なものとない。とです(観察) 街頭の賣りもの

有家な色素を使用してアイスクリームの色に出て不正敵人もあます の有無か調べてから飲用する事で ムさかいつたものが露

渇いた人の子達を誘惑する

勝ちな夏の貧感に何よりうれらい あつさりを報て頂くサラダは衰へ あっさりをがて頂くサラダは衰へ

無いものでせうかつりと 早く適富な治療を

選手を山

定我人の楽山出た

ラヤ山の

貴女を美しく見せるには 夏の帽子は斯んなのを

前の方へとン曲げ、反野の額を膨 となくても盆々遊くなつたクラウンな、片つ方の目がかくれるほご

権つた場合醫師の命に從つて母、

白

玉

山

祭

隊 0

古北口における戦死者

一二日錦州に着く

の間鐵嶺に駐屯徐機の模様である用列車であつた、因に同隊は當分

傷病兵を慰問

しき凱旋

H

管内署長會議で決定

「選帳」山崎遠陽領事に数目前と 「選帳」山崎遠陽領事に数目前と 京方面に起き十二、三日頃崎遠院 京方面に起き十二、三日頃崎遠に 京方面に起き十二、三日頃崎遠に 京方面に起き十二、三日頃崎遠に 京方面に起き十二、三日頃崎遠に 京方面に起き十二、三日頃崎遠に 東方面に起き十二、三日頃崎遠に 東方面に起き十二、三日頃崎遠に 東方面に起き十二、三日頃崎遠に 東方面に を変に於て 下であるが九日崎遠、更に 来天新 の送別會な十五日午後六時から 公 の送別會な十五日午後六時から 公 の送別會な十五日午後六時から 公 の送別會な十五日午後六時から 公 の送別會な十五日午後六時から 公

交渉要請に関する性につき協議 調文を全権大使並 奉天商議から提出 一百六勇士の

浦岗

職領領事々務は 警察署長が代行 てゐる

六年八和

質は六日午後一時より地方事務所 營口代表決定 時局委員會

護照運照撤廢の

交涉方要請

一大学 では見たが治安未だ確定せざ 成しては見たが治安未だ確定せざ ではまたが治安未だ確定せざ

会願書左の如し

醫学博士

滥谷創榮

入院隨時

呼吸器及消化器慢性病 肺門淋巴腺炎及幾高不良

西公園町春日小学校前

一、線完備

腎臓・

血壓及婦人內科

肺尖・

今井醫院

優勝旗を造つて 盛大に擧行

めつかこ後に近くきまする客で高仁軍曹は今度郷家屯分隊附に高仁軍曹は今度郷家屯分隊附に 穿 川 兒 門 科

小式参列の為め

瓦房店の建國運動會

胜 尿器病 病物品水灰

古い疊が新らしくなる

生殖器障碍 开上醫院

一春琴會は何れも日に月に食開原和樂の夕『閩原】開原

會と催し



◎経済上衛生上なくては のドシ のドシイー御試用あれ なら以ナカノ液

の若返り

◎日焼け變色を防ぐ ◎のみ、バイキン、南京虫の 退治。 ○僅か四銭で古典が新しく

ピス吹着の米酸をふるひ、或は自らカフェーの陣頭に立つてサ

にて一記者) を知つたかザマア見ろ(奉天支社

半分壹圖 十三日分三國

無脊膜岡六三五九香 電 話 二 四 ○ 香

努力がいかに哀れなものであるか 野政にも夜ごさ日ごさに雅突する 野政にも夜ごさ日ごさに雅突する

で何ものなも指み得ないと概力の前には何ごさなも默秘せ

もこれらの女性たちは縁力艇な金もこれらの女性が避動してぬる。 しか

女の花が吹き、ダンスホールプロカフエー帝國會館には仇な中年 だそれでも統制しきれわさいふ

尾蠍を守り且つ宥しあつてゐる、に駆する、しかもお互にその管理

この一大精力ご

なけなしの悲哀

その富永氏はダンスホール・

(四)

領事館閉鎖に次ぎ

义閉鎖解散の嘆き

赤十字支部等閉鎖の運命に

しよげ返る鐵嶺市民

が氏はいこも勇敢にトピック線上 屋の三重奏な縁かにかきたてる監 屋の三重奏な縁かにかきたてる監

取新薬





發兌 大連 大 阪屋號書店

新両切タパコ ギャロタル あなたら わたしら のタバコ 泰東洋行 金十夫人

宮內省御用達 2の一杯の 大倉恒吉商店吟醸

天の審査終る

「製出」是嫉親及北南方面の戦闘 除名は八日午後十時四十五分戦山 除名は八日午後十時四十五分戦山 いるは、八日午後十時四十五分戦山 いるは、八日午後十時四十五分戦山

電燈を欲

岫巌縣民の嘆願

大石橋電燈架設考慮

出動部隊凱旋

白衣の勇士

鞍山通過歸還

日午前八時継州野塚天に配ふこと 日上海陽出雲同日午後五時總州 開長に守られて、かなしく際路鑑 日山海陽出雲同日午後五時總州 一次 日山海陽出雲同日午後五時總州 である、同夜は畿州に一液 は、一般をである、同夜は畿州に一液 である。同では、本る十三 は、一次 である。

日午後一時から製野地方事務所長 出年後一時から製野地方事務所長 展の三氏は松天市民を代表さして 最の三氏は松天市民を代表さして 最の三氏は松天市民を代表さして

選ばれた二十四名

改訂版・日滿英三ケ國語の

年前十時間會、山本、後藤、三土 蓋た切つたが関東側板織では九日 東京九日教園通 本日の際議は 不混なる振日願徳に堂々應戦の火 ではなる振日願徳に堂々應戦の火 の火

おりこれた異議なく承認した上今ける緊急委員会の印稿代費に関する報告の印稿代費に関する報告

地に立つて行動するとを申合せた後の不置意行に就いては國家師見

戰協定

又既定員の削減額は一億個見當に實現すべき増税額は約一億個、

路

るる模様で、これに後へて明 程度に止めんごする内意を有

滿支郵便

局地協定成立

野米常替の昂騰は意に介する間に優化なしこしドルの不安に基

側幹部連甲には相當版

底してゐる

滿洲國教育廳長會議(計學にて部)

【東京九日餐園通】近橋、松平駅 既に野する貴族院正職議員の策認 際窓式は九日午後三時中宮中南部 で横満書記館停立候職首組より

自重派會合

上空視察 わが飛機

た。

大学の研究に対している。

大学の研究に対した。

大学の研究が対した。

大学のでは、対した。

大学のでは、対した。

大学のでは、対した。

大学のでは、対したるに対した。

大学のでのでは、対したるには、対した。

大学のでのでのでは、対したるには、対しないが、対した。

大学のでのでは、対しないのでは、対した。

大学ので

▲聯盟 事務局この聯絡伊藤進史氏 ★情報部 ・實際博、橫山正幸國氏

▲事務總長 大使館参事官加藤 全権部 石井子、松平、深井三三 左の如も

ふこさ、なつた、尚我代表部構成

總裁に電報

「本天電話」 常野協定 リ我が飛行機は支那軍 リ我が飛行機は支那軍

信義交渉開始か

●公覧に依れば黴洲自治銀管棚ライの村井總銀事より外移省に選した。

ある

ては互駆協定を設定する方針で「氏等は八日送に悉くロンドン」では互駆協定を設定する方針で「氏等は八日送に悉くロンドン」では「使、伊藤地史氏及び随具様田」

着で日本代表部の陣容は完全に整着した、九日の石井代表一行の到路

類語及對語表

露日度量衡比較

今秋正式に交渉開始

山本氏、島田氏等を訪

官記傳達式

長に任ず 公爵 近衛 文麿

貴族院副議長正三位野二等管部を傳達した

かも及ばずながら盛力とよう 部が収拾に起たれては如何、自 部が収拾に起たれては如何、自 るやも測り加いのからこの際幹 るやも測り加いのからこの際幹 を が収拾に起たれては如何、自

木下成太郎氏その他政友會代議士

殿重抗議して來た

公債發行五億程度

特價金拾個

增稅約一億、既定費削減約一億

王計局豫算編成方針

殿相信助で協議

陳友仁の渡日

北平軍政當局に衝

感謝優遇

排日關稅に應戰

さ回答、倉見一時間で終つたがこ

って陳友仁が秩父丸で秘密に日本

本宗代等の体験反対態皮表明の今で本宗代等の体験反対態皮表明の今で

印棉不買實行

爾東側紡績も合流し

德川 前議長に

満洲國の國礎磐石の如く堅し

軍政部當局者の談

しその著版ながため各自。 を以て周慶な がため各自。そ

日濠通商條約

問題に對し强硬態度を執るに一致 管見の豫定なりさ述べ閣議は京大 管見の豫定なりさ述べ閣議は京大

停戦後の北支の情勢は順調であ

| 乗京九日後國通] 來たる十一日

土方 久徵

重任に決定

如く安合され」が第一線までには未だ徹底するに「牧岡支那軍は我が軍

對支借欵に 米輿論の總攻撃

亭に會合、常館の時間

【東京九日餐園通】宋子文の渡米で急戦底下総総を見た米園の東論の総攻撃を受け前途 ち米園内輿論の総攻撃を受け前途。 ち米園内輿論の総攻撃を受け前途。 ち米園内輿論の総攻撃を受け前途。

總裁の裁斷決せん

政友の内爭深刻化す

進退によ

き各種の専門術語を豊富

に收め之に適譯を與ふ

繁簡よろしきを得。

等凡ゆる語彙を網維す

• 方言 • 俗語 • 外來語

譯語は平易簡明よく洗

練統整され、文例適確

応比類なく新語・古語

「おいる」である。

「おいる」である。

「おいる」である。

「おいる」である。

「おいる」である。

「おいる」である。

「おいる」では、「おいる」では、

「いる」では、

「いる」では、
「いる」では、
「いる」では、
「いる」では、

「いる」では、
「いる」では、
「いる」では、
「いる」では、
「いる」では、
「いる」では、
「いる」では、
「いる」では、
「いる」では、
「いる」では、
「いる」では、
「いる」では、
「いる」では、
「いる」では、
「いる」では、
「いる」では、
「いる」では、
「いる」では、
「いる」では、
「いる」では、
「いる」では、
「いる」では、
「いる」では、
「いる」では、
「いる」では、
「いる」では、
「いる」では、
「いる」では、
「いる」では、
「いる」では、
「いる」では、
「いる」では、
「いる」では、
「いる」では、
「いる」では、
「いる」では、
「いる」では、
「いる」では、
「いる」では、
「いる」では、
「いる」では、
「いる」では、
「いる」では、
「いる」では、
「いる」では、
「いる」では、
「いる」では、
「いる」では、
「いる」では、
「いる」では、
「いる」では、
「いる」では、
「いる」では、
「いる」では、
「いる」では、
「いる」では、
「いる」では、
「いる」では、
「いる」では、
「いる」では、
「いる」では、
「いる」では、
「いる」では、
「いる」では、
「いる」では、
「いる」では、
「いる」では、
「いる」では、
「いる」では、
「いる」では、
「いる」では、
「いる」では、
「いる」では、
「いる」では、
「いる」では、
「いる」では、
「いる」では、
「いる」では、
「いる」では、
「いる」では、
「いる」では、
「いる」では、
「いる」では、
「いる」では、
「いる」では、
「いる」では、
「いる」では、
「いる」では、
「いる」では、
「いる」では、
「いる」では、
「いる」では、
「いる」では、
「いる」では、
「いる」では、
「いる」では、
「いる」では、
「いる」では、
「いる」では、
「いる」では、
「いる」では、
「いる」では、
「いる」では、
「いる」では、
「いる」では、
「いる」では、
「いる」では、
「いる」では、
「いる」では、
「いる」では、
「いる」では、
「いる」では、
「いる」では、
「いる」では、
「いる」では、
「いる」では、
「いる」では、
「いる」では、
「いる」では、
「いる」では、
「いる」では、
「いる」では、
「いる」では、
「いる」では、
「いる」では、
「いる」では、
「いる」では、
「いる」では、
「いる」では、
「いる」では、
「いる」では、
「いる」では、
「いる」では、
「いる」では、
「いる」では、
「いる」では、
「いる」では、
「いる」では、
「いる」では、
「いる」では、
「いる」では、
「いる」では、
「いる」では、
「いる」では、
「いる」では、
「いる」では、
「いる」では、
「いる」では、
「いる」では、
「いる」では、
「いる」では、
「いる」では、
「いる」では、
「いる」では、
「いる」では、
「いる」では、
「いる」では、
「いる」では、
「いる」では、
「いる」では、
「いる」では、
「いる」では、
「いる」では、
「いる」では、
「いる」では、
「いる」では、
「いる」では、
「いる」では、
「いる」では、
「いる」では、
「いる」では、
「いる」では、
「いる」では、
「いる」では、
「いる」では、
「いる」では、
「いる」では、
「いる」では、
「いる」では、
「いる」では、
「いる」では、
「いる」では、
「いる」では、
「いる」では、
「いる」では、
「いる」では、
「いる」では、

本辭書の特色

外來語は各々語源を明

文法上の要件を明示す 主なる品詞に就て一々

礎を置く。

さいふのである 千萬明の如き巨額な信用供給を 関重業を愈々危殆に瀕せらむる 関重業を愈々危殆に瀕せらむる ものである、故にこの際断然石

支那側に警告

局は語る 過去八ケ月の増収は単なる要数 的増収だが貨物でも土木建築な 料や石炭等の荷動きは活躍され り一般財外の景氣の好轉さ見た れてゐる

大は五千六百二十二萬國で前年度 地東人も前年度に比し七百八十二 物東人も前年度に比し七百八十二 が東大も前年度に比し七百八十二 が東大も前年度に比し七百八十二 が東大も前年度に出して前年度

支那の實狀を指摘

増収に轉向

國有鐵道

教園支那軍は我が軍に對し数砲と

情るものさして支那側に警告を要

滿 鐵

調東

局經編

春のお化粧料は **獨逸モウソン會社製品**

近の温調状態に對し酸細酸相並び

當分放任

對米為替

髙新洋行 **電話八二五九番**

おける南京の空氣を少しても表はてれていふコースもないが、最近に

るたが、撮近南京にもこの水道が 一国の首都に水道がないのは限

邦人全部引揚 支那官憲に壓迫されて

上海事送の經滅により乾海飛行そ 監器用であったそうだが、昨年の 変軍は軽数で飛ぶここだけは様 がで飛ぶここだけは様

探視し、空軍の総融調練を開始し で直にアメリカから多数の数値を で直にアメリカから多数の数値を がはまないことを影り、並におい である。

利用者は問題にならない程少ない さのことだ、原因は各自に井戸を できること、水道智の引込料が高いこと、水道智の引込料が高いこと、水道智の引込料が高いこと、 では、水道智の引込料が高いこと、 る、役所や大きな店を除くさそ

も、焼門に入るや出々の鑑賞が一 な歌人を訪問するさ一々随 けられ支那人を訪問するさ一々随 いて来る、これは旅行者のみに際 は響等、歴兵或ようなを さいつてくれたのは愉快であ

・ 東民国の首都阻京のみだ」ご誇り

成から見るさ無責任の なが、土地極嵩しむないへるので敵局しその

は西本定書比密は高級大塚解線氏は西本定書比密は新興流場ののため九日入港はるびん丸で来逃るでんれて来逃るでんれて来逃るでした。一人で見たい所をゆつくりまてくる」さう前述しながら語る。

発さなく、南京さらば 場げた方が説明だこの 場がた方が説明だこの際はよ



各薬店ニアリ

以て満洲國の郵野な割り、 物に野しては未純砂な取らず交換 変属に野し今後は凝東以東及び震 が同当変体験交渉成立につき山 が同当変体験交渉成立につき山 が同じ野し今後は凝東以東及び震 が高い。北平天池方面よりの郵便 他に於ても之を承認したので北支

『バンクーバー八十登画道』東京 新会論で日本機械事業の成功を左 の如く述べた 日本の植林は規模において世界 世界に比なし 日本の植林は フランス語第一歩

進目出 呈錄版

東京神田駿河臺下

白

【奉天電話】 索天満洲画側郵便局より支那側に於て个水談画なる理由を支那側に於て个水談画なる理由を以て滿洲画の郵鉄な談内すさなと

語為師您民俊彦編 新 佛蘭西文學會編 新 九山順太郎編白水社 山本直交編纂標 佛 音 和 和 熟 和 語解 典

商教授野口洪基編 佛蘭·西語 本規則 逆引針曲、整體器科 十八號

專門十大家共編模範 佛 佛 和 和 小 大辭 典 上 定價金三個八〇錢 典 此 定價並二関八〇錢 十六銭 **李留达科 十六錢** 書留送科 十四銭 書留送料六十二個

滿洲。限。六月廿日迄 特價期限切迫 延十日間

特價七圓五〇錢

の 戦をである、そして、五百の戦を一基、三百五十戦をして、五百の戦を一基、三百五十戦をして、五百の戦を一基、三百五十戦をして、五百の戦を一基、三百五十戦をして、五百萬戦である、そしてこれに俳響とて煙総職四十萬戦を大孤山登織七十萬戦を開これに俳響と、大孤山登織七十萬戦を出の際偏を大孤山登織七十萬戦を出の際偏を

注意點を一言したい。それは獨時が規律的に取扱ばるべき他の

名に鑑してゐる、しかるに跳脈一名に鑑してゐる、しかるに跳脈が實現した曉には點脈所の第一點一个年生更能力は跳鯢八萬毗、網片一二十萬點、網林十三萬五千點頭には點脈所の一點

本人称二千一百名、満洲個人が八十十萬戦、院院が四十二萬戦、院

一千名さなる準定であるが、ことで 最も注目に値する転は同整螺形が で変移民の公紋を守って帯蚊部載が

化があり、時の概念は益々一般でこに時の利用に就いての民衆

製鋼所の設置で

学院特米を解説からたいさ思ふ るに先だち、それの基礎実験所の るに先だち、それの基礎実験所の

邦人の人口倍加

特派員 五百旗頭佐一

行さ離るべからざる関係ある

あに聞つて、時の規律が必要さ 觸に於ても、その範圍が嚴くな

さへあった。

種の誇であるが如き階級

、及それか超越することが

場合が多かったが、文化の並及とは無時間に處理し決済も得る

て、甲が近日ル要す

伸び行く鞍山

當時は民衆の知識も属々であ

大大文 の指導によって装質を 向上せらめんさするものである 向上せらめんさするものである 文端洲域も有力なる特色のである 文端洲域を有力なる特色のである 文端洲域を対してるるが現に奉デ中央訓練處が するるが現に奉デ中央訓練處が であるが現に奉デ中央訓練處が を管せらめる方法であり衝火優 任官せらめる方法であり衝火優 任官せらめる方法であり衝火優 長なる特校ル教育とつ、ありこ しなる特校ル教育とつ、ありこ 長なる特校ル教育とつ、ありこ をで訓練中である、興安省は即ち 電話人の臨城であり特殊なる 電話のこれが第一回さらて既に六月一日 終三百名た募集ら目下各教等隊 で訓練中であるので純然たる電古人軍

現下の状態にあつては今後到底 現下の状態にあつては今後到底 お有する水田四十五町歩ミ烟五 上の建物さた無償を以て下附し 上の建物さた無償を以て下附し 上の建物さた無償を以て下附し 上の建物さた無償を以て下附し 上の建物さた無償を以て下附し 上の建物さた無償を以て下附し 上の建物さた無償を以て下附し 上の建物を必無償を以て下附し 上の建物を必無償を以て下附し 上の建物を必無償を以て下附し 上の建物を必無償を以て下附し 上の建物を必要がし一戸常り三千 の一部分を盛分し一戸常り三千 の一部分を略分し一戸常り三千 の一部分を略分し一戸常り三千

一、十八年間の努力により漸く今 日あるな特だがこの間堆積せる 質債は一戸常り三子九百五十餘 関さいふ莫大な額に上つてかり 現在の状態ではこの返還は到底。 見込がないから、この上放置す る時は一層苦境に陥るここは當

東に献任した前総銭線域美濃部域と、東に献任した前総銭線域美濃部域

古氏は九1午後二時十分安泰総で 海洲取引所のこさは鮮銀に居た 満洲取引所のこさは鮮銀に居た で取引所を引受けるこさになつ た、満洲取引所のこさは鮮銀に居た

さか置かればならぬ。

必然時の利用さ按配さに軍事務の精粗な意味するが故

いが、文明は社會の複雑な意味時その者に因れ發するのではな

厚薄がある。この區別は必ず

付に、開誇全部に總體的支障を

移民の希望條件で

愛川村更生策成る

範圍は小部分に期限されるが

て統制さるべき事務が多くなりればするほご、組織機構に依つ

7

るここだ。昔から時の

念の養成手段である。就中動も毎年各地に行はれる時の記念 概念が関却されては、有形 **がて甚だ有意義である。或る意** いに於て、文明生活は時の生活 ある。社會百般のこさ、時の

も難かしい。

時の必要を痛感せらめるが、一自然の常相だ。近代文明は益々自然の常相だ。近代文明は益々 める。時には寸時の停頓はないた無視して人為的事功を急がし らこめた。その結果時の自然性 人力で之た促進すること

又天道は言はすして品物学るさいかが能く様でな解決するさいか

選速あるのでなく、

れに順應さすべき秩序機構が進 して徒らに焦慮し苦悶し、却つて とすれば誤認し易い。事に當つ である。それた世間は動 こする。天道官はずして品物亭 ひ次を追ひて、原因結果の關係 背より今の方が高事早く 様取 人の力なそ

0 を明示する場にある。若も之を

思はずして無用の氣力を演費し時の力に倒行逆施するが如うこさあらんか、その結末如何は智者が使たずして明かだ。これは各個人が世に處する上の反賓點だが、近時の國際問題や、民族だが、近時の國際問題や、民族 義や深版なりさいふべきで され易い時の力の無視だ。 を記入機能せる施設を下附ら出版を記入機能せる施設を下附ら出版を整め、場合はその都度身分酸明整や護師本人の健艦及び戸籍等を明また、右に日本軍の軍隊を各人に突附する 手機で同様軍人精神軍規等を明記 滿洲國の

近く規則公布 務者の多くが、警食後一時間の

漸く改善され行く

満洲國の軍隊

期待される精兵化

石野顧問現狀及び計畫を語る

年天で實施する

²空演習計畫

燈火管制は廿四日

廿一日より開催

警務會議

その成行き注目さる

員會能議會を開催することになっ でなり且下総念これが編纂中であるが更に九日より二日間最後的委 を対して、西山總務印是が編纂を登長 のであるが更に九日より二日間最後的委 のである。

はるのが移民村開設の主旨に副けるのが移民村開設の主旨に副けるのが移民村開設の主旨に副けるのであらう。 以内な姿解も之に所有権に等しなる。 さ水貨権を防災し家屋は有地五町歩いる。

滿洲取引所

開業準備を急ぐ

實業部へ認可申請 ト會社

た にいたつた、なは資本金五百萬國軍戦機 滿洲體育協會

の計畫の船が

「新京電話」 滿州體育碗質では十 日文教部總長室に於て關係者並び 日文教部總長室に於て關係者並び ・ 七月中旬早大陸・競技選手敷 でる件 競技委員會聯盟構成に關す

して、支那軍に破かを表する場め を東京市民が監督したのに起い合さ 東京市民が監督したのに起い合さ 東京市民が監督したのに起い合さ 東京市民が監督したのに起い合さ である人對英鞭派ポイコット版で、 べて、支那軍に敬意を表する為め

分に物語って

あらゆる各

一九八六一〇 二側高た入れ、

期近 10400 1049 10540 10540 10400 1049 10540 1054 上海標金は軟弱なりこと質力級 と海標金は軟弱なりこと質力級

沙 票 軟 弱

二四六四六四九

矯正 吸入及含嗽削 かとき

はりこか高壁は質系輝に教育 品媒体合、豆粕も現物質に温度 の地筋質に非商の質長も利から 大一豆・温度、保合

東海 田 强元 三即商店

粉 末
50兆 ¥ 2.75
115元 ¥ 5.50
260元 ¥11.00
荷幣用 ¥20.00

の經過さ共に観火不規則になっ の經過さ共に観火不規則になっ です時の記念日によって時 間な関行するのも来の間、日數 W.C. 生 ◆時間を配か

正確 さんか。 時間

机に確服つて居る有

は一大の大学になって居ることは一大学は一大学になって居る一人である。 ☆六月十日を時の記念日さして一般大楽に時に響する概念を鳴起

といってある、だら、は、は、いってある。だら、ないのである、だら、は、は、ないであるが、というないであるが、というないであるが、というないであるが、ここなりには、いっている。 自真の簡所に電気時計な数

内地ボンヤ

保健

佳木斯出發

大連語學校然

此道健康に通す

螢

直 視 直 威 泰 直 視 直 威 泰 直 視 直 威 泰 直 視 直 威 泰 高 征 伐(一) 一 次 島 征 伐(一) 一 京談叢 貧乏の證明書◎添命短き 一 京談叢 貧乏の證明書◎添命短き 學校同窓會報 漸洲語短期講習會終了式窓たより◎羽衣月報

六

世界一の仙人境

曹

なれれる男が現れが掘の柱の縁からし、肉切施丁を出した機子をんに、

ル四年生機械止子(こ)小島盛代(ここ)の職名は機識の結果突然家出した、實験でも歌していか島盛代(ここ)

の総鑑」- 塔の外側には郷総称に - トルの部所までは車で強れる、 - トルの部所までは車で強れる、

いふから實施

瀋海線列車の奉天驛發着

数路線局の英斷で

(日曜土)

方のバター、チース等の乳製品

け

は

時

0

記

念

日

除隊歸還兵に

京城、新京間に

超特急運轉

省線も連絡運輸始む

滿洲年鑑贈早

岡村參謀副長

發議で

退去命令

在留民國學生

【新京九日養國通』間村参談副長の養諭により在滿各部隊の の際、これを参照して郷里の満洲に禁する認識を認めるべく の際、これを参照して郷里の満洲に禁する認識を認めるべく 八日その第一側を梨天驛通過の聯兵部隊隊隊兵へこれを實施 した、今後も同り織きこれを實施する害である

魁忠雕連絡の完成は熊脂の怠粉を



満鐵々道部の新計畫 イス使用して輸送

交通機關の

輸送能力

田のはるびん丸で来連直ちに北行 エら北行す こさになっ た川崎造船工場所網職工二十五名 に監督機淵平太郎氏に引奉された 開設される

鬼で約三週間振りに雕連した、氏 地を訪れたが、九月出帳のうちる

船永藝術使

梁繁茂期の 備對策決まる 奉天署警務廳で協議

大 左の如く決定した。 一、解劇の整理統制 一、解劇の整理統制

.

松中又々大職にも九日午前二時頃 を行び直に繋がについた、この繋が (倉田司法主日より Martin 猛烈なガスに 惱まされ續けた 羅津港への曳航事業を終へ 谷川船舶係主任の談 冢人を縛し金品を奪つて逃走 日本は昭和、北山、大連各鬼艦のう 日午前五時編漫港出戦師連の途に でいた由八日午後単戦事が所に入 でいた由八日午後単戦事が所に入 日より導いた二名のものさ共に家は一三笠町四丁目九番地洋池弦其原李町四丁目九番地洋池弦其原李町四丁目九番地洋池弦其原李町四丁目九番地洋池弦其原李町の一日ので共に家 主家の家族 新京署躍起の捜査 に強盜 でその成果に大物の成果に大力である。例は、 美術同人院

現在の四萬坪の奢隆場心擴大して二倍除の八萬六千除坪に擴大し避信局事務所、日本及び滿洲 を避信局事務所、日本及び滿洲 を運信局事務所、日本及び滿洲 さい といこさゝに決定したものであつて こさゝに決定したものであつて こさゝに決定したものであって こさゝに決定したものであって こうこと

二人を絞如 雇人二名共謀して

五平方前でトラックを止め死機を始末せんさするさころを巡邏中の機震中の機震を記憶されたもので其の機震を ラックに積込み 能上川邊町飲食店者標 を成せんさするさころ が受けるさ云ってト でのでいるでは、 がでするさ云ってト でのでいるでは、 がでいるでは、 がでいる

通機師の際に施加しも担づたが市中交流 通機師の際に多大の影響のるので博覧信の人場に多大の影響の名ので博覧信の人場 た、それによる一日の輸送能力は博覧信の人場 一十五回、四號系統二百八回で定 最八十二名、滿典百五十名こと 養で九百八十四名、非常日同報 養で九百八十四名、非常日同報 養で九百八十四名、非常日同報 養で九百八十四名、非常日同報 大郎に子八百名で 大郎に子八百名で 大郎に多大の影響が 一十五回、四號系統二百八回で定 大郎に子八百名で 大郎に子、北部時の 本の間十三時間で平常の場合 大郎に子、北部時の 本の間十三時間で 本の間に 本の間に 本の間に 本の間に 本の間に 本の間に 本のに 本の間に 本のに 本のに

椅

推海田側正樹氏、議長交迭さいて、我主張賞節の好機來る 3 て多年欧正方に無達してぬ 0

頭痛

シ、

質・一十銭・・乗品のにありません。

•

Section of the second

.

ジャンピング時計

特價 二圓八十錢

純銀シガレットケース

特價 十二圓五十錢

それは振り所がある、徳川公は それは振り所がある、徳川公は では 一般に での意味だつたが、近衛公は 理解してゐるさ、 契数族院 公は 理解してゐるさ、 契数族院 過日出岩龍平氏来速の時も「今 度縁起が變あらといから、君の 意見も多分質現するよ」と云は れた、そこで盤の田剛氏「今度 れた、そこで盤の田剛氏「今度 ので」と恋舞覧を統認。 新發賣

子 樂 養養 天皇 だ」される

おいて解養中であったが八月午後的郷里京都紫野柳町四四の自宅に前本社員竹村智氏は病氣療養のた

カーテンの時季に東山の大学には英國かり、デルコには英國かり、デルコには英國かり、東鎖街

パイナップと

事務(六十日分)金三個 送料 金十五錢 (說即書進早)

電話二一五二六番。振替大通四八一九番 大連市越後町四一番地 政本秀治郷 以 滿洲一手

大台外

新義州飛行場

敷地を擴大

今晩八時より

定例

交

舞

踏

會

本の促進所は対すいなる るに適用情報型かなる を世界の美術に一大般 はないなる

・ 諸護備も未だ完成してゐないので エ 野婆なポイントさなるに至って世

近く結成す

東要なポイントとなるに至った。 の要なポイントとなるに至った。 の要なポイントとなるに至った。 の要なポイントとなるに至った。 の要なポイントとなるに至った。 の要なポイントとなるに至った。

一般に其情報しいるが 取の人士がは下極力を 取の人士がは下極力を が認成されるが 大変道部態長等始め で道部と表現しません。

國航空事業の飛躍に適應する延前朝戦機督所遷信局では今後の消滅

合計四萬九千百四

R

0

100

0

京京でハヤる

ジャンケンのらび方

警務連絡會議

客車、貨物車共廉價に引合よ製品あり 代理店を求む 米國一流自動車工場滿洲に於て 多多多

東京帝國ホテル、一五七號室至急下記に申込まれたし

取 望元 平岡 南會大連支店 二十四十二番地 東三六四九番

敬社

チョコレー

特別の国際の関連を機会に東部が 京間の国際は企業を変した。 京間の国際はなる変更が動揺されて でも古會線の関連を機会に東部場が がため大阪から新京方面への貨物。 がため大阪から新京方面への貨物。 がため大阪がある変更が動揺されて

朝鮮總督府遞信局で

湊式吸癒器 RYOTO, HOTEL

吉會線の開通を期に

始することに決定、一方戦艦総道 一首概と古會概との連称運輸ル階 に省機と古會概との連称運輸ル階 に省機と古會概との連称運輸ル階

200

大連の皆様へ

にて失禮乍ら厚く――お禮申上ますまして限りない御聲援を賜りありがたうまして限りない御聲援を賜りありがたう 存じまし ル大連會館に た、

紙上 5

3

肇滿晴子

日本コロムビア専圏

和花

たまにくい手ですがこれを打たない。と下邊の三十六以下が取られたさうです。 自日く 自五十八八の十二づで(トの十三)に打つて居る方が良かったやうです。 無日く 黒五十一(への十八)は 打ちたくないが手をねくさ自に へまの十八)に先手で打たれるのがたまりません。

- [3]

木村敏藏先生創製

强力な淋

| 17 (17 (25) 2 (25

眼 科 處方眼鏡 責任調製

新製薬。ヨオビス」出現

女の恥です

久製粉· 前停電町雲東區東市較大 業工田保久 番五〇〇三東屋話署

イボイル球もり



この美味しさで精 用はホンの僅かです 口に孝行なさい

十錢、送料當万負擔 定價一部五 以、年五

判

はの

10-N

宮内省御用選味の素本舗

挿話、名殘りの數々

女、鳳間送電線

一月頃實現

田村滿電支店長談

一日から開始

ハルビン、大阪間の

悲劇『熱河行

男の罪か・女の罪か

結局警察に保護願ひ

地鎮祭ご起工式

十一日盛大に擧行

喚聲をあげて

は 安宗教の三チームに分けて野球リ もーク戦を撃行するが、監地方事務の三チームに分けて野球リ カーカー は 安宗教の三チームに分けて野球リ

人妻の

手分上

して放火襲撃

日東豐事件の詳報

鮮人樂土農村の

鐵道○○隊

逃走の途捕る

でも有名な牧師で も市間領でない愛見 をさんげし見の著 る「眠れる見に對 る「眠れる見に對

【奉天】七日午前五時さいふ早朝 州を所持し加茂町派出所前を通行 州を所持し加茂町派出所前を通行

「瓦房店」 瓦房店野祭選に左の通り装塡の暴動があった 振順警祭署巡査部長 振順警祭署巡査部長

古川法務官來營

職権の場め七日午の場合と日午

素人角力界 後五時二十二分響列車にて臨泉五 事実計畫に付て調査の35の十日午 事実計畫に付て調査の35の十日午 滿鐵地方課長來營

東京水町 勢働者診療所長 東京市社会局場に 馬島

大連千里十里食堂電二

寝具用意大連薩摩町九五 米間呼敷十億より三條

「「鳴らしてゐた西二條通過業張儀で鳴らしてゐた西二條通過業張儀術 あの世へゆく

第加方 (無順) 黒田創道教師送 黒田創道教師送 県田創道教師送 県田創道教師送

本天に來た彼女は奉天見物を整節一監督區監督補助を命ずりと理想を胸に為がきながら奉第二第四監督區監督補助を命ず山級で錦州に赴き旅館に接宿とてゐたその間男は忙しい商寳にであらう位にその男を信じてはれた磯兵織査に金州より憂微といて行た、彼女は商寳の都合で忙しい「金州」去る四月大連において行た、彼女は商寳の都合で忙しい「金州」去る四月大連において行た、彼女は商寳の都合で忙しい「金州」去る四月大連において行た、彼女は商寳の都合で忙しい「金州」去る四月大連において行れた磯兵織査に金州より憂微と、本等りを捜してゐるさ奉天に來ったであるささを男には妻子がありとかも何もとらない女を田舎につれこんでは資りさばす不将漢とであるこさを知つた

像なく全く流電側の準備の都合に 斯く監破の康定より選れたのは滿 大監破の康定より選れたのは滿

へ 【撫順】撫中 一部のためラグビー が何れも訓権を握

八日盛

ラ

古本 高價買入御報参上

[無原] 撫順

に関する講演があ 順、教募朝日教授 版、教募朝日教授

見発大的界世會劑銀

「等を豫防し得る作用は、 最も本剤の質識を博せる

牛乳 バタクリーム

株式會社電四五三七番

任せられたる佐藤栗先生が多年の實験と夢理に基含 最も合理的な名局所服卿として完裁較美せられたる 物にて、多數專門家の臨床實験によれば、神疾治療 物にて、多數專門家の臨床實験によれば、神疾治療 物にて、多數專門家の臨床實験によれば、神疾治療 物にしての、五乃至の、八瓦(即ち尿道粘膜に 層る強烈にしての、五乃至の、八瓦(即ち尿道粘膜に 層布する程度)の極少量にて、使用一回毎に其の効 果がンノー顧はれ、洗滌、挿入藥等の如く薬液と共 に淋蘭を後部に送入する憂なく從つて攝護腺炎睾丸 に淋蘭を後部に送入する憂なく從つて攝護腺炎睾丸 に非菌を後部に送入する憂なく從つて攝護腺炎睾丸 に対する程度として一致では、 原本の併設能を起す如き惧れは絶對になく、反つて 後等の併設能を起す如き惧れは絶對になく、反つて 関力强烈にして事後散時間後の使用と雖も其の作用的本劑は特病能防として使用するも、前配の如く殺

常研究所は同病総裁を割せんとし響界の機政諸大家 常外諸國より間合せや輸出注文が我倒する有様で欣 海外諸國より間合せや輸出注文が我倒する有様で欣 海に堪えず同病総滅の信念と確信を以て、本療法に な何ぎ度く、衛臨床家譜質の再考を促し希靜の批判 を仰ぎ度く、衛臨床家譜質の再考を促し希靜の批判 を知ぎ度く、衛臨床家譜質の再考を促し希靜の批判 ◇海外に於ける賞讃

長院病原吉廓遊原吉京東前

渡瀨氏講演會

其豫防に絕對權威

白檀油酸ハバルサム額、ザロール、ヘルミトール・所言して『内服栗デ今日最モ多ク用ヒラレテ層ルテノミ、ソノ目的ヲ遂スル寧ヲ等』と輸及せられる。 ◇九州帝大旭博士發表

Q;Krankenheiten der Urogenitalorgane", ver lag von Fukuoka Ikwadaiguku Zasshibu.) (九 州帝國大學醫學部、「泌尿生葡萄疾患」技業"、) と論 病ヲ減ジ分泌物ヲ減少シ雙分牧飲作用アルノミ」現今デハ尿ニ殺菌力ヲ附異スルモノニ非ズ、軍二客デ、是等ハ往時殺菌力アル如ク考ヘラレテキタガ、 られたる暴説中に「T淋解へ内服薬ノミニヨッテハを九州俗國警科大事教授旭憲吉博士が、新界に襲奏せ

◇ブラオン銀の特色液作用

思給 特別三〇帝友ピルニノ五 多田 大連市ゆ河口仲町百十五 丸山 大連市ゆ河口仲町百十五 丸山

フヨ品高質要売と四三五・フキ町新古墳電や四三五

室内 貸衣 裳 日底町 電話二二六四五番

淋病の局所治療と

古本 の御用は 西郷土山間書房へ電四三六二番 の御用は

白帆・天帆高級御化粧紙は

人連市伊勢町五三拓茂洋行紙店

性に同復せんご努力してゐる、 生命力は常に其の自然の健康状 知何なる病氣に對しても人體の 生命力は常に其の自然の健康状 生命力は常に其の自然の健康状

接野(內地十五 值

が 接マッサージ 御用の

治療お望の方は

クサ 及胎毒の特効 乗有ります 大連劇場隣根本郵局電七八六二 大連劇場隣根本郵局電七八六二

「大学家 夏河家子海岸波打察、 百五十個名極 電話六四十七条 別班向一年以上希望着! 別班向一年以上希望着!

写真 大連部浜館 変ん 電話三五八四番 大連部浜館 変を撮影 の 年齢有 一

實印の御用命は

当野町 一萬堂 電七八五九番

中乳 バタクリーム ボタクリーム 満洲牧場 電話六一三四番 満州牧場 電話六一三四番

牛乳 バター、クリーム

運多化會員至急募集 源總領一丁目三四六 票總領一丁目三四六

家政婦派遣

三六九五 香です

女門派 中特別 動勉 を 中特別 動勉 を 中特別 動勉

NO. 2—159

品と技術は 連鎖街 銀 子屋洋服店 電話大大など番 大連市西班子 大連市西班子

硝洲満南

(77)

輪界の革命車=メ

ヤ

ム號

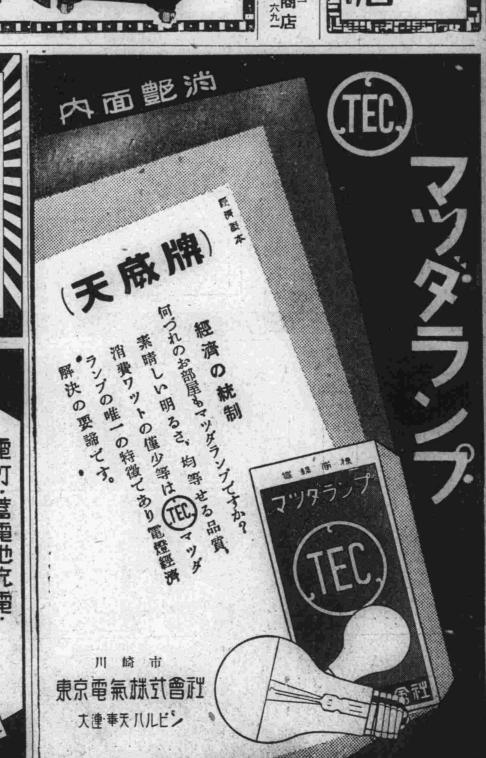
プレーキ付

¥ 二五·00

用結納儀式

安く売店神殿佛壇洋祭具式 明進物品間屋 キット税はれる た連市浪速町通り響城町界 御存亡?

型缆電機 満洲總代理宮は大連・東天・新京ハルビン 農具・土互・用トシテ 電灯·蓋電池充電·



劑製鐵ンモルホ體骨 ブルトーゼ粉末 骨 體 骨質成 含燥蛋白 五〇〇元入 二 間七十 垂 鏡 千 錠 入 四周五十錢 カルチウム及燐酸 鐵ブロタルビン ホ成ルか 分 Ŧ

グアヤル

ブ

ゼ

病後衰弱

アルゼンブ

ーゼ

全身衰弱

急性慢性貧血

味

ブルトーゼ

神經衰弱

膚 諸疾

腺病質

兒

ゼ

ブ

ゼ 忠

BLUTOSE

ガアル(大和

- NO

时货进版大 店商吉友澤藤

活動の源泉小畑子

キョアルゼンナドン

1-40 04-40

味

大小

頭痛いは

ランを

極作業服

小倉服色

色白くなるホーサン入

セホル協

ズボン権

ルオーバ

ネマキ

一第用信 豫悪 防疫 タオ ででである。 京年五月廿八日 は何等關係無之此段謹告侯也 者不都合の廉に依り解雇仕候間爾今弊 者、解、泉、古 かかった 加工綿布 た布生綿 告

ナへ商會出張所

南京虫、油虫、蠅、蚤退治



佐々木、 横山兩博士有効御證明

御婦人用、三五より (京 ム)、九〇よりが、 沓、三五よりが、 沓、三五よりが

とないでするとしていません。

學校の成績のは関がある

豪·高考v

B 部商店 一声春美を

館 亞 會 山山る大名を 十日より **惭門主演**

純井ホマ ・近松県子護)

を応れのやう、今すぐ御戦行下さ後には必ずイマツ郷取粉なマク事

貸出勉强·保管確實 シアン・エージのアイを

> この夏の海濱に躍 揃ひました。

> > 一、六〇より

職家が困難ですが、衛生試験所の ・ 一を関しますから、選合の数果が ・ 一を関しますから、選合の数果が

試験の結果

放イマッガ香油で退治し

STATE OF THE PROPERTY OF THE PARTY OF THE PA

鬼恶

(101)

の隠居の威勢は敬きされません

S. TIV

されぬご思つたが

A THE PARTY OF THE

わけなく全滅した

から知れわなし

蘆江

電航海三子籠内外の輸入を見、標 を以て埋まるの盛觀を望した、両 もその入荷の首他にあるパナナは しその入荷の首他にあるパナナは

質物な前年同期のそれさ比較せば 第の八二、二五〇題と比較すると 表に本年五月中の治要輸入 るる、表に本年五月中の治要輸入

月末に及び自然下

製造物、先物さら十六分の一等職機は組育二分の一等職機は組育二分の一条職

奏等は内地特産品なるな以て引續、指法、山は地物の出掘りに終熄、獨活、山

哈爾頓(六月服 九三五 八月服 九三五 八月服 九三五 八月服 九三五 1

映台

174100

奥地向貨物十四部

割激增

況免見

産

九九、七里 九九、七里

廖

前年同期對十割七分增

東殿管下郵便場所規で見るに、

数前年同期

、ある、七月一日から四日迄日 | 総曲のものは微量税三割強の課税で度の上京は株の募集について | 満洲圏輸入の壁築用材で現在大連

卸市場刷新方を

から郵底大連側で太刀打が出來す から郵底大連側で太刀打が出來す から郵底大連側で太刀打が出來す

市當局で研究

市民は小市場増設要望

大連港輸入貨物

問配達總數は二百七十

日

齎らせる小包増

對比|配達十四割九分增前年|引受十五割五分增

ベルビン陳輪組 始される管

して大連卓頭まで乗入れられるの一局の協議館を開く営・一クをつけた車輛が浦鏃線が南下 るが、この結果によつて浦鯵野線のするが、この結果によつて浦鯵野線の高いであると同様の販視されると同時に関線のするが、この結果に送りでは、一般に乗りが、この結果に登りません。 **販賣**會議 本月 三〇一、二〇七 二 三月 二五九、三〇二 二 二月 二〇〇、六八四 一 三月 二四七、七二九 三月 二四七、七二九

哈市、吉林兩地

低資運用案協議

近く決定七月より貸附開始

製材關稅引下と

大連木材業者

州外移出の皆無な現状

の智能期は七月一日で決定したツトに對する一般的モラトリアムツトに對する一般的モラトリアム 調の結果、 大田 (京城登) 五日 (京城登) (宗城登) (京城登) (宗城登) (宗城隆) (宗禄) (宗禄隆)

百三十一年七月以前のクレデット《伯林八日發國通》ドイツが千九

海標金

数 株 (弱保合)

門 専 骨 鬼 院骨 田前 (院 本) 三九通西市連大

日滿產業提携 委員會設置 (九 日) 金製塊及為替 (元十四分) (元十四分) (元十四分) (元十四分) (元十四分) (元十四分) (元十四分一 元十四分) (元十四分) (元十四分)) (元十四分) (元十四分)) (元十四分) (元十四分)) (元十四分)) (元十四分) (元十四分)) (大阪株式 ・ 前場が 前場が ・ 118代の 118

安值 (1040) (240) (

藤武雄氏原作の

17

各地特產發送高

醫院

きっと御満足e出来る

一篇激感のンオイラ・ンベ すら知子心親 しな人るざか泣て見をれ是 公信興洲満 報日 査調

無宿佐太郎 養 船 おとけ 賀 完 下一半一・大松竹建助貝 に 一半一・大松竹建助貝

にこの十六日に總理官邸において云ふ自信をもつてゐる。それを書寄てられてゐるが、天丈夫 印度商務省 日印會商提議を聲明 る、隣任は七月中旬にならうなってゐるからそれにも列席でなってゐるからそれにも列席でなってるがある事に

今秋出廻期に實施

鐵道、荷主の便益絕大

國線の直通連絡

同時に印度政府の関税引上げで、明ル憲表とた。「東京特館九日襲」シムラ三字線、一策につき日中全商提議に関了、「東京特館九日襲」シムラ三字線、「策につき日中全商提議に関了

懇談會

員決定

硫安の前途は 懸念の要はな これから大にやる積り

有特別委員中より更

九日歸連の右近、 深水氏交々語る

本地、取分け新京では

大月三十日無事創立總會へ終つた 満洲化製工業株式會社の影響取締 後有近文雄、深水壽の顧氏は仲 良く手を據へて九日入港のはるび 地大にも記者觀からの食見申込 動た共にも記者觀からの食見申込 に難しては「二人で伸良く何もか しましては「二人で伸良く何もか

獨のモラトリアムに

生絲相場

千圓臺再出現か

○定期前場。單位與) 等付高值安值大引期近10억010억0至 遠期10억210억010억2110억2 遠期10억210억2110억2110억2 遠期10억210억2110억2110억2 遠期10억210억2110억2110억2 遠期10억210억2110억2110억2 遠期10억210억2110억2110억2 最對金銀對洋金對洋 十時10억10 1200年 十一時10억10 1200年 十二十一個

七月一日より實施決定シャ博士の言明

株式の公募 西田通信會

上京用件は

ドイツは愈々一九三一年七月以下イツは愈々一九三一年七月以下、蓋し右はドイツ現在の金融情勢がその當時の銀行恐慌に基情がその当時の銀行恐慌に基情がその当時の銀行恐慌に基情がその当時の銀行恐慌に基情がその当時の銀行恐慌に基情があるからである。

受けない。 一般に関いています。 一億臺割豫想

は現在のこころ影響をやなったおおい、ドウズトなつた綿集、ドウズトなった綿集の元神振い

當市聢り

大新一園九十錢客、維紡六國九十 養安、維新三國七十錢客、朝は大 株三十錢高、大新六十錢高、東 京短期の東新は三風掬み高ミ反撥 と電市の五品は定期三四十錢客、 東京短期の東新は三風掬み高ミ反撥 と電市の五品は定期三四十錢客、 方征、一個七十錢高、新豆十錢高、東 京短期の東新は三風掬み高ミ反撥 と電市の五品は定期三四十錢客、

奥地相場

郡三光門羅七日より公

強階五十銭 踏七十銭 が面自いかは御一見の上… が面自いかは御一見の上… 加田集原

株は何かものか 射越屋市店 御報贈呈

大連株式取引 大連 長5472 應用 員2556 新文 員2349